

# 第 4 次湖西市男女共同参画推進計画 検証シート

湖西市

令和 7 年 5 月

### 担当課及び該当シート一覧

担当課	事業・施策No.
市民課	1,2,3,4,5,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21, 22,23,24,25,26,27,29,32,33,34,38,40,41,43,44,45
総務課	32,40
契約検査室	34
こども政策課	37
こども未来課	6,7,8,28,38,41,42
地域福祉課	1,2,3,14,38
高齢者福祉課	6,7,29
健康増進課	26,27,39
産業振興課	3,17,24,25,30,31,33,34,35,36
危機管理課	21,22,23
建築住宅課	4
幼児教育課	4,14
学校教育課	14
スポーツ・生涯学習課	28
図書館	3,5

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課		記入者		連絡先	
-----	--	-----	--	-----	--

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重		
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり		評価の視点
施策の方向	(1)	人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供	S	当初の想定を上回って達成した。(101%~)
事業・施策No.	1	講演会や講座などの実施	A	達成度が7割以上10割以下だった。(70~100%)
事業の内容		企業・団体・市民・教育関係機関など広い範囲を対象に、男女共同参画や人権の尊重に関する講演会や講座などを実施します。	B	達成度が5割以上7割未満だった。(50~69%)
			C	達成度が3割以上5割未満だった。(30~49%)
			D	達成度が3割未満だった。(~29%)
			-	対象年度外・モニタリング指標のため評価なし

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D~S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	<p style="text-align: center;">令和3~5年度の実績報告書から転記した状態で各課へ水色部分の入力を依頼する。 (転記作業：2月下旬頃まで) (各課依頼：3月上旬~3月下旬頃まで)</p>	A	<p>男女共同参画に関する講座事業は、内容が親しみづらいためか参加者が集まりづらい。他課と共催で講座をするなど、市民が広く関心を抱くような内容としたり、最初から対象団体を設定して一般参加も可とするなど、参加者集めが目的とならないような事業の企画が必要である。</p> <p>また、毎年度新たな講座企画を単発で行うよりも、2年に1回程度のスパンで連続講座を行う方が、各テーマをより深掘した内容とすることができるのでは、と考える。</p>
令和4年度 (2022)			
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>			
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	<p style="text-align: center;">令和6年度実績報告は、併せて依頼する毎年度の実績報告と同じ内容を各課に転記してもらう。</p>		<p>「今後の方向性」入力例 達成度がA以上なら「拡充or継続or見直しor完了」 達成度がB以下なら「見直し」 なんらかの事情で事業を一度やめる場合は「休止」</p>
今後の方向性 (数字を入力)	<p style="text-align: center;">1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	<p>講座事業は2年に1回とし、他課と連携した連続講座(3回程度)を実施する。</p>		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	地域福祉課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(1)	人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供
事業・施策No.	1	講演会や講座などの実施
事業の内容		企業・団体・市民・教育関係機関など広い範囲を対象に、男女共同参画や人権の尊重に関する講演会や講座などを実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容(実施回数・参加人数等)	4年間の評価(D~S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	湖西市人権擁護委員連絡協議会の事務局として、人権擁護委員の人権教室実施を支援。 【人権教室】対象:市内の教育・保育機関に通う児童等。内容:紙芝居・DVD等の教材を用いた人権意識の啓発。開催回数:7回。 【人権啓発教材の貸出】新型コロナウイルス感染症の影響で人権教室を中止した園・学校に、紙芝居・DVDを貸出。実績:5件。	A	現在、人権教室の対象をこどもに限定しているが、人権尊重はどの年代も学ぶべき問題であることから、より広い範囲を対象に人権教室を実施する必要がある。
令和4年度 (2022)	①保育園・幼稚園・こども園:9回 小学校:6回、中学校:2回 参加総数約1,380人 ②小学校1校へ7点		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】小学校低学年に向けた人権教室の新プログラムを新たに1つ作成した。 【評価の理由】小学校低学年から性の多様性について考えられる新プログラムを設置した。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】①1校 【評価の理由】①小学校低学年を対象に、自分らしくあることのすばらしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を養う教室を実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	大人向けのプログラムを作成し、市内社会福祉法人に対し教室の開催を呼びかける。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(1)	人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供
事業・施策No.	1	講演会や講座などの実施
事業の内容		企業・団体・市民・教育関係機関など広い範囲を対象に、男女共同参画や人権の尊重に関する講演会や講座などを実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	①パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入に伴い、オンライン形式による性の多様性に関する基調講演及び制度に関する意見交換会を開催した。参加者数は23名。 ②男女共同参画と地域防災に関する講演会を自治会役員を対象に実施した。参加者数は73名。	A	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の開始に伴う性の多様性に関する講座や、育児・介護休業法改正に伴う男性育休に関する講座など、時流に合わせた内容の講座を開催してきた。しかし男女共同参画に関する講座事業は、難しく感じる人も多く、参加者が集まりづらい。 他課と共催で講座をするなど、市民が広く関心を抱くような内容としたり、最初から対象団体を設定して一般参加も可とするなど、参加者集めが目的とならないような事業の企画が必要である。 また、2年に1回程度のスパンで連続講座を行う方が、各テーマをより深掘した内容とする。
令和4年度 (2022)	①性の多様性をテーマに、静岡大学の教授・学生をファシリテーターとして迎え、市民向けセミナーを開催した(参加者21名)。 ②未実施。 ③男女共同参画週間の周知と併せ、市役所だよりによる周知を1回行った(出前講座の実績0件)。 ④性の多様性に関する管理職級職員研修を開催した(参加者115名)。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】市民向けセミナー参加者アンケートにおける有用度「とても役に立つ」「役に立つ」の合計86%。 ①④計画どおり実施した。 ②③未実施。 【評価の理由】男性育休セミナーは、会場参加6名、オンライン参加12名。アンケートでは「(男性育休の)制度面と実際に企業が実施している取組が分かり、理解が深まった。」といった声があった。 セミナーの参加者が20名未満であったことについて、開催方法や時期、市民にとって関心の高いテーマを設定するなどの工夫により改善したい。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】市民向けイベント参加者の満足度(アンケート回答:「とてもよかった」「よかった」の合計)100% 【評価の理由】①ポートルース浜名湖との協働により、「女性ポートルーサー」「男性保育士」「女性消防士」を講師として招き、男女比の大きな職業に就くことをテーマとしたトークイベントを開催した。(来場者数延べ550名)。アンケートボード「面白かった(よかった)100%(48人)」。市単独で開催する講座よりも多くの人に話を聞いていただくことができ、広く周知を図ることができた。 ②出前講座の周知を行った。③男女共同参画研修を実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	講座事業は2年に1回とし、他課と連携した連続講座(3回程度)を実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	地域福祉課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(1)	人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供
事業・施策No.	2	広告媒体などによる広報・啓発
事業の内容		ウェブなどを用いた情報発信や報道機関への情報提供など、あらゆる世代に対して、様々な媒体や機会を通じた広報・啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	人権擁護委員の日、人権週間、「子どもの人権110番」及び「女性の人権ホットライン」強化週間について、ウェブサイト・広報紙で広報・啓発。人権相談ダイヤルの啓発品を新型コロナウイルスワクチン接種会場に設置。冊子「人権の擁護」(法務省発行)を、民生委員、保護司、更生保護女性会員、赤十字奉仕団員に配布。	A	啓発品の配布のみでは、悩みを抱え相談を必要としている全ての人に情報が届かない可能性がある。
令和4年度 (2022)	①市役所だより2回、ウェブサイト2回の広報を行った。冊子「人権の擁護」を民生委員約100名に配付した。 ②ポケットティッシュ2種1300個、ボールペン200本を配付した。(配付先:ワクチン接種会場)		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】人権教室の参加者に啓発品を渡したり、人権週間前後に啓発品を公共施設に設置したりし、2,000個以上啓発品を配布した。(人権教室参加者1,238人、その他の啓発品1,300個) 【評価の理由】人権の相談窓口を周知するラベルを貼った啓発品を配布した。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】2,000個以上 【評価の理由】人権教室参加者へ啓発品の配布を実施した。また、人権週間前後に啓発品を公共施設に設置した。(人権教室参加者938人、その他の啓発品1,300個)		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	あらゆる世代に情報が届くよう、ウェブなど様々な媒体を用いて情報発信を行う。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(1)	人権尊重と男女共同参画社会に向けた広報・啓発活動の推進と学習機会の提供
事業・施策No.	2	広告媒体などによる広報・啓発
事業の内容		ウェブなどを用いた情報発信や報道機関への情報提供など、あらゆる世代に対して、様々な媒体や機会を通じた広報・啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	年間を通してウェブサイト、SNS、広報こさい、市役所だより、モニター広告、各種メディア報道により情報発信を行った。 パートナーシップ制度に関する広報では、市長による記者発表を行い、新聞報道を通じて広く周知した。 また、生理用品の無償配布に関する広報では、地域福祉課が主体となり、各種メディアを通して広報を行った。	A	SNSやウェブサイト等を活用し、必要な情報発信や情報提供をしてきた。またコロナ禍でオンライン参加できる講座等も増えたことから、静岡県の男女共同参画センター「あざれあナビ」を活用して県内全体への情報発信や周知にも努めた。 課題として、周知・啓発事業はその効果が見えづらいため、事業の目標設定がKPIのみとなっている。周知・啓発の結果、市民にどのような影響があったかを図ることができるアウトカム指標と目標値の設定が必要である。
令和4年度 (2022)	①SNS・ウェブサイト等による広報を年29回行った。 ②女性相談事業の受託者が執筆した、男女共同参画に関するコラムを掲載した(年6回)。パープルリボンプロジェクトについて特集記事を1ページ掲載した。 ③パープルリボンの啓発リーフレット配布数2000部(配布先:市内高校、公共施設、スーパー等。全16箇所)。性の多様性に関するリーフレット配布数約500部(配布先:各種イベント・公共施設等。全3箇所)。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】SNS・ウェブサイト等による広報回数37回。 【評価の理由】SNS(X:旧Twitter)で最もユーザーの反応があった投稿は、「男性育休セミナー」に関する投稿であり、SNSユーザーの関心は高いものであったことが伺えた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】SNS・ウェブサイト等による広報回数 50回/年 【評価の理由】①令和6年度は計画策定のための調査業務の比重が大きいことから、市民課の実施事業を定例のものとする代わりに、静岡県や他市のイベント情報を多めに発信した結果、実績回数が昨年度よりも増加した。 ②③計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	ウェブサイトをより見やすく整備し、必要な情報が届きやすい情報発信に努める。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	地域福祉課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	3	性の多様性などに関する啓発の実施、情報や学びの場の提供
事業の内容		ウェブなどを用いて市民が性の多様性に関する理解を深める情報発信を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	人権擁護委員連絡協議会にて、性の多様性に関する教材「みんなで考えるLGBTs」(DVD)視聴の機会を提供。 冊子「人権の擁護」(法務省発行)を、民生委員、保護司、更生保護女性会員、赤十字奉仕団員に配布。	A	啓発品の配布のみでは、悩みを抱え相談を必要としている全ての人に情報が届かない可能性がある。
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケットティッシュ500個を配付した。(配付先:ワクチン接種会場)</li> <li>・人権擁護委員連絡協議会でDVD「みんなで考えるLGBTs①」を視聴した。</li> <li>・民生委員定例会にてパートナーシップ制度を周知した(市民課連携)。</li> <li>・地域福祉計画策定委員会で委員向けに情報発信し(市民課連携)、第4次計画に「多様性を受け入れられる意識づくり」を施策として明記した。</li> </ul>		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	<p>【実績】①1個②500個</p> <p>【評価の理由】①小学校低学年に向けた性の多様性に関する人権教室新プログラムを設置した。 ②性の多様性についての啓発標語が書かれているティッシュを配布した。</p>		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	<p>【実績】①1校 ②500個</p> <p>【評価の理由】①小学校低学年を対象に、自分らしくあることのすばらしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を養う教室を実施した。 ②人権の相談窓口及び性の多様性についての啓発標語が書かれているティッシュを配布した。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充          2 継続          3 見直し          4 休止          5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	あらゆる世代に情報が届くよう、ウェブなど様々な媒体を用いて情報発信をする。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	3	性の多様性などに関する啓発の実施、情報や学びの場の提供
事業の内容		ウェブなどを用いて市民が性の多様性に関する理解を深める情報発信を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	性の多様性に関するウェブ情報発信及び広報こさいの女性相談コラム掲載・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度に関する特集記事掲載(3月15日発行号)を行った。 また、市立図書館に性の多様性及び宣誓制度に関する特設周知コーナーを設置し、広く市民に情報を提供した(2月下旬)。	A	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の開始に伴い、本計画期間は性の多様性に関する情報発信を意図的に増やしてきた。 課題として、性の多様性に関する情報(用語や事例)は日々更新されており、コラム記事の執筆等には相応の準備が必要となる。今後は、ほかの事業と同様に国や県の既にある素材を活用した周知・啓発の割合を高めていく必要がある。
令和4年度 (2022)	①静岡県主催のLGBTパネル展の共催市として、9月1日～19日の間、性の多様性に関する啓発物を市立図書館へ設置した。 ②性の多様性に関する管理職級職員研修を開催した(参加者115名)。【再掲】 ③性の多様性をテーマに、静岡大学の教授・学生をファシリテーターとして迎え、市民向けセミナーを開催した(参加者21名)。【再掲】 ④静岡県事業の周知をSNSで3回、広報こさいで1回行った。 ⑤市民意識調査において、性の多様性に関する設問を1問設置した。		
令和5年度 (2023)	【実績】市民意識調査の「性的マイノリティ(またはLGBT)の方々にとって、住みやすいまちであるか」という設問について、「わからない」と回答した人の割合58.9%。 ①②③計画どおり実施した。 ④未実施。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】性の多様性に関する情報発信回数 6回/年 【評価の理由】①②③計画どおり実施した。 ※R6は実績と評価の理由欄より		
令和5年度6月に「LGBT理解増進法」が施行されたことについて、内閣府作成の周知チラシを公共施設へ配架した。			
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	内閣府や静岡県の啓発素材(リーフレット等)を活用した周知・啓発にシフトする。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	3	性の多様性などに関する啓発の実施、情報や学びの場の提供
事業の内容		ウェブなどを用いて市民が性の多様性に関する理解を深める情報発信を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報、啓発活動を計画通り実施、えるぼし認定を新たに取得した企業があったものの、市内企業全体への認定取得促進には至っていない。</li> <li>・ 男女の均等な雇用機会と待遇確保の促進が、人材の定着や人材の確保、従業員のモチベーション向上など、企業価値の向上に繋がる点を踏まえた周知活動が必要と考える。</li> </ul>
令和4年度 (2022)	6月配信のメルマガにて、市民課主催の性の多様性に関するセミナーの周知を行った。		
令和5年度 (2023)	【実績】メルマガ(3月配信)にて厚生労働省の性の多様性に関するWEBサイトを紹介した。 ※R5は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】事業者にもメルマガで周知を行った。		
令和6年度 (2024)	【実績】市公式LINE(事業者向け)を活用した周知をおこなった。 ※R6は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】計画通り実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	市公式LINE(事業者向け)を活用して、性の多様性に関する情報を発信する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	図書館
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	3	性の多様性などに関する啓発の実施、情報や学びの場の提供
事業の内容		ウェブなどを用いて市民が性の多様性に関する理解を深める情報発信を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		A	計画どおり実施できている。
令和4年度 (2022)	①6月1日～30日の間、男女共同参画特集として図書を展示した。 ②静岡県主催のLGBTパネル展の共催市として9月1日～19日の間、性の多様性に関する図書を展示した。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】6月に特集展示をおこない、性の多様性に関する図書を紹介した。 【評価の理由】図書の展示と貸出は、性の多様性への理解を深める機会となった。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】性の多様性に関する図書の紹介(特集展示6月) 【評価の理由】計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <span>1 拡充</span> <span>2 継続</span> <span>3 見直し</span> <span>4 休止</span> <span>5 完了(事業の目標を達成した)</span> </div>		2
今後の方向性 (内容)	性の多様性に関する理解を深める機会として継続する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	4	性の多様性などに寄り添った取組の推進
事業の内容		戸籍上の性別ではなく本人の自認する性や性的指向に寄り添った、パートナーシップ制度などをはじめとする仕組みの実現に向けて取り組みます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	令和4年4月のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入に向け、他市の状況調査・要綱の作成・庁内調整・市民との意見交換会・パブリックコメント・周知広報を実施した。	A	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を令和4年度から開始し市民向け講座、行政サービスの拡充、行政文書の性別欄の見直し、庁内研修、静岡県や他自治体との連携などを様々な事業を進めてきた。 現状は、制度利用者が少ない状況であるが、各課の制度認識に努めている。
令和4年度 (2022)	①主な制度の周知は令和3年度中に実施した。R4年度は、関係団体(民生・児童委員、私立、公立幼保こども園園長会)へ制度の周知を3回行った。 ②県制度と本市制度の連携について協議し、行政サービスの相互提供を可能とした。 ③行政文書の性別欄見直しを行い、市の裁量で見直しできる文書139件のうち97件の文書の性別欄を廃止し、9件の文書の性別欄の表現を変更した。 ④宣誓制度を利用した方などが利用できる行政サービス5件(R4.4)⇒24件(R5.3)		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】宣誓制度を利用した方などが利用できる行政サービスの数25件(前年度24件)。 ②④計画どおり実施した。 ①③未実施。 【評価の理由】行政サービスの見直しのため全庁調査を行い、他自治体で導入されているサービスについて関係課へ周知し、追加できるものがないか検討を促した。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】宣誓制度を利用した方などが利用できる行政サービスの数 26件(累計) 【評価の理由】①東三河5市の相互連携協定に加わることで、協定自治体間の転入・転出時の手続きを簡略化し、利用者の負担軽減に努めた。 ②行政サービス25件⇒26件。パートナーシップ宣誓制度利用者が対象となっている他自治体の情報をまとめ、必要としている課へ情報提供した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	職員マニュアルの定期的な見直しや宣誓手続きの窓口対応練習、他自治体との情報共有による制度のアップデートを継続する必要がある。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	建築住宅課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	4	性の多様性などに寄り添った取組の推進
事業の内容		戸籍上の性別ではなく本人の自認する性や性的指向に寄り添った、パートナーシップ制度などをはじめとする仕組みの実現に向けて取り組みます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	市営住宅の入居について、入居資格における「現に「同居し、又は同居しようとする親族(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予定者を含む。)」の中にパートナーシップ制度を利用している方も含む。	A	各年、新規入居者の募集を2～3回実施した。 計画期間内の入居実績なし
令和4年度 (2022)	①パートナーシップ制度利用者の市営住宅入居募集		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】年2回実施 【評価の理由】市営住宅の入居募集を2回行った。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】年2回実施 【評価の理由】市営住宅の入居募集を2回行った。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	市営住宅への入居募集を継続する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	幼児教育課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	1	男女の人権の尊重
基本施策	1	男女共同参画と人権尊重の意識づくり
施策の方向	(2)	性の多様性に関する理解・取組の促進
事業・施策No.	4	性の多様性などに寄り添った取組の推進
事業の内容		戸籍上の性別ではなく本人の自認する性や性的指向に寄り添った、パートナーシップ制度などをはじめとする仕組みの実現に向けて取り組みます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	パートナーシップ制度などの有無にかかわらず、個別の事情がある場合には寄り添い、話をよく聞き、個々のケースに応じた柔軟な取り扱いをしている。	A	窓口での問い合わせは無かったが、園での啓蒙は引き続き行い、意識の醸成を図る。
令和4年度 (2022)	①5月の園長会で周知した。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】①11月の公立園長会でジェンダーに関する絵本リストを紹介し、園での活用を依頼した。 【評価の理由】①園職員の共通理解、意識の醸成を図った。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】10月の園長会で周知した。 【評価の理由】園職員の共通理解、意識の醸成を図った。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	園長会での周知を年に1回行う。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(1)	ドメスティック・バイオレンス、性暴力、各種ハラスメントなどの防止に向けた広報・啓発
事業・施策No.	5	DV、性暴力、各種ハラスメント防止の啓発、情報提供
事業の内容		パープルリボン・プロジェクトの実施や、性暴力、モラル・ハラスメント、マタニティ（パタニティ）・ハラスメント、デートDVなど各種ハラスメントに対する正しい知識を市民が持つことができるよう啓発・情報提供を行います。 また、男性がDVや各種ハラスメントの防止活動に積極的に参加できるように、啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	11月にパープルリボンプロジェクトを実施し、公共施設やスーパーにて啓発物やチラシを1500部配布した(前年度比2.5倍。啓発品は、新型コロナウイルスワクチン接種会場にも設置した。 市役所正面玄関に懸垂幕を設置、市内各所にのぼり旗を設置、市立図書館に特設コーナーを設置することで月間の周知を行った。 市公式Instagramにて、特設コーナーへ訪れた利用者の写真を掲載し、市内外のターゲット世代へ周知を図った。	A	令和6年度で通算13回目となるパープルリボンの啓発事業は、市の男女共同参画の啓発事業の中で積極的に実施してきた。今後は、より効果的な方法を模索していく必要がある。
令和4年度 (2022)	①SNS・ウェブサイト等による広報を5回行った。啓発リーフレット配布数2000部(配布先:市内高校、公共施設、スーパー等。全16箇所)。 ②多言語版リーフレット配布数2000部(上記全16箇所+配布先:外国人市民の方が多く利用するスーパー、KOKOまつり等)。 ③性暴力防止月間に関して、SNS・ウェブサイトによる広報を3回行った。		
令和5年度 (2023)	【実績】パープルリボン啓発リーフレットの配布先は23箇所。 ①②③計画どおり実施した。 【評価の理由】パープルリボンの啓発品の配布について、新たに市内中学校を配布先として追加した。中高生向けの配布物にはデートDVや性暴力防止の内容が入ったリーフレットを追加するなど、世代に合わせた周知・啓発を行った。		
令和6年度 (2024)	【実績】パープルリボン啓発リーフレットの配布先23箇所 【評価の理由】①11月が啓発月間の「オレンジリボン(児童虐待防止)」担当のこども未来課と協働し、より効果の高い啓発に努めた。 ②③計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	オレンジリボン(児童虐待防止)との協働による周知啓発など、効果的な啓発方法を検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	図書館
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(1)	ドメスティック・バイオレンス、性暴力、各種ハラスメントなどの防止に向けた広報・啓発
事業・施策No.	5	DV、性暴力、各種ハラスメント防止の啓発、情報提供
事業の内容		パープルリボン・プロジェクトの実施や、性暴力、モラル・ハラスメント、マタニティ（パタニティ）・ハラスメント、デートDVなど各種ハラスメントに対する正しい知識を市民が持つことができるよう啓発・情報提供を行います。 また、男性がDVや各種ハラスメントの防止活動に積極的に参加できるよう、啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		A	計画どおり実施できている。
令和4年度 (2022)	11月1日～30日の間、パープルリボン特集として図書の展示を行った。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】11月に特集展示をおこない、DV・性暴力等に関する図書を紹介した。 【評価の理由】図書の展示と貸出は、DV、性暴力等の防止への理解を深める機会となった。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】DV・性暴力等に関する図書の紹介(特集展示11月) 【評価の理由】計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	DV、性暴力等の防止への理解を深める機会として継続する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	6	DV、性暴力、各種ハラスメントに関する相談事業
事業の内容		DVや性暴力、様々なハラスメント相談に対応できる相談窓口を設置し、相談しやすく、個人のプライバシーに配慮した相談事業を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	DVIに限らず高齢者の相談窓口として市及び包括支援センターで相談体制を整えている。 必要に応じ訪問等プライバシーに配慮した対応を実施。 【高齢者相談・新規相談件数】 1120件/年	-	高齢化による、対象者の増加が見込まれ、相談件数も増加することが予想される。高齢者の相談窓口としての周知啓発も含め、取り組んでいく。
令和4年度 (2022)	地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1117件/年		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1271件(内虐待3件)/年  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は1117件(内虐待2件)。 地域包括支援センターによる新規相談件数を維持している。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1078件(内虐待3件)/年  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和5年度相談件数は1271件(内虐待3件)。 地域包括支援センターによる新規相談件数を維持している。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	引き続き、高齢者の相談窓口としてDVに関する相談を含めて、市及び地域包括支援センターで相談体制を整えている。必要に応じ訪問等プライバシーに配慮した対応を実施。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	6	DV、性暴力、各種ハラスメントに関する相談事業
事業の内容		DVや性暴力、様々なハラスメント相談に対応できる相談窓口を設置し、相談しやすく、個人のプライバシーに配慮した相談事業を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	【相談件数】 一般相談 13人 DV相談 10人		関係機関につなぐことで解決の糸口が見えることもあるため、連携は欠かせないが、より多くの機関とつながっている必要がある。 男性相談は現在非常に少ないが、今後増加していくことが考えられるため、対応のスキルアップが必要。
令和4年度 (2022)	①令和4年4月1日付で、女性相談員を設置した。 ②専任職員の令和5年度予算要求を行った。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①対面型の交流会・研修会に5回参加 ②正規職員で対応 相談実人数 56名  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は28名。 関係機関との連携により、目標を超える相談実績があった。他市町の女性相談員と積極的に交流し、情報収集を行うことで、より適切な支援につなげた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】 ①対面型の交流会・研修会に4回参加 ②正規職員で対応 相談実人数 51名  【評価の理由】 経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	①女性相談員担当者研修・交流会を年3回以上受講 ②要保護児童対策地域協議会の活用(ネットワークの活用)		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	6	DV、性暴力、各種ハラスメントに関する相談事業
事業の内容		DVや性暴力、様々なハラスメント相談に対応できる相談窓口を設置し、相談しやすく、個人のプライバシーに配慮した相談事業を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性相談を毎月第1～4木曜日(祝日を除く)を実施。 年間30件の相談があった。問い合わせは26回あり、うち面談予約は19件。DVに関する相談は3件だった。 新たな予約方法としてオンライン予約を11月より開始した。また広報の効率化のため、3月より、女性相談を知った広報物の聞取り(任意)を開始した。	A	相談件数は年間平均30件ほどで安定している。課題として、相談を必要としている人に必要な情報が届くよう、相談事業の手法や名称、周知の工夫が必要である。
令和4年度 (2022)	①女性相談事業は年間を通して44回行い、相談実績は39件だった。 ②SNSによる周知1回、広報こさい(相談日の周知)による周知を毎月(全12回)を行った。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】女性相談利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合22%。 ①②計画どおり実施した。  【評価の理由】女性相談事業を通年実施し、相談件数は36件であった(前年度比92%) 利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合が、前年度の2%から20ポイント上昇した。公共施設でのチラシ・カード等の掲示のほか、掲示に協力いただける事業者などを引き続き探して広報を続ける。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合13.2%  【評価の理由】①相談のきっかけとして最も多いのは「市広報紙(7件)」で次点で「ウェブサイト(6件)」だった。令和7年度から広報紙のページ数削減のため掲載できなくなることから、そのほかの方法で広く周知を図る必要がある。 相談件数は全体で30件であった(前年度36件)。 ②市の広報戦略アドバイザーを活用し、相談名称やチラシデザイン、広報の手段について検討した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	令和7年度に相談の周知を拡大し、相談件数の推移を見守る。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	7	関係機関との連携による早期発見体制の整備
事業の内容		県の女性相談センターなど関係機関との連携体制を構築し、DVや各種ハラスメントを早期発見できる体制を整備します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	DVIに限らず高齢者の相談窓口として市及び包括支援センターで相談体制を整えている。 必要に応じ訪問等プライバシーに配慮した対応を実施。 【高齢者相談・新規相談件数】 1120件/年【再掲】	—	高齢化による、対象者の増加が見込まれ、相談件数も増加することが予想される。高齢者の相談窓口としての周知啓発も含め、取り組んでいく。
令和4年度 (2022)	地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1117件/年		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1271件(内虐待3件)/年  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は1117件(内虐待2件)。 地域包括支援センターによる新規相談件数を維持している。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】地域包括支援センター高齢者相談件数(新規) 1078件(内虐待4件)/年  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和5年度相談件数は1271件(内虐待3件)。 地域包括支援センターによる新規相談件数を維持している。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	引き続き、高齢者の相談窓口としてDVに関する相談を含めて、市及び地域包括支援センターで相談体制を整えている。必要に応じ訪問等プライバシーに配慮した対応を実施。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	7	関係機関との連携による早期発見体制の整備
事業の内容		県の女性相談センターなど関係機関との連携体制を構築し、DVや各種ハラスメントを早期発見できる体制を整備します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	相談件数] 一般相談 13人 DV相談 10人【再掲】	—	関係機関につなぐことで解決の糸口が見えることもあるため、連携は欠かせないが、より多くの機関とつながっている必要がある。 男性相談は現在非常に少ないが、今後増加していくことが考えられるため、対応のスキルアップが必要。
令和4年度 (2022)	①令和4年4月1日付で、女性相談員を設置した。 ②専任職員の令和5年度予算要求を行った。 ③ネットワークを利用し、一時保護の際に警察・児童相談所等と連携をとった。		
令和5年度 (2023)	【実績】①対面型の交流会・研修会に5回参加 ②正規職員で対応 ③女性相談対応したケースについても会議で報告し、進行管理を行った 相談実人数 56名 【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は28名。 関係機関との連携により、目標を超える相談実績があった。その結果迅速な保護につなげ、月1回の会議を活用して進行管理することができた。		
令和6年度 (2024)	【実績】 ①対面型の交流会・研修会に4回参加 ②正規職員で対応 相談実人数 51名 【評価の理由】 経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	①女性相談員担当者研修・交流会を年3回以上受講 ②要保護児童対策地域協議会の活用(ネットワークの活用)		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	7	関係機関との連携による早期発見体制の整備
事業の内容		県の女性相談センターなど関係機関との連携体制を構築し、DVや各種ハラスメントを早期発見できる体制を整備します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性相談において、情報提供を可としたクライアントについては、関係各課へ情報提供をしながら適切な支援ができるよう取り組んだ。また、各種相談機関の紹介を行った。関係課への情報提供4件。各種相談機関の紹介件数10件。	A	市の自殺対策ネットワーク会議に出席し、市のほかの相談事業担当者との情報交換することにより、連携を深めた。
令和4年度 (2022)	①関係機関への情報提供回数は1件。相談者本人に対する、他の相談先に関する情報提供回数は12回であった。		
令和5年度 (2023)	【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数7回。 ①②③計画どおり実施した。 【評価の理由】相談先の情報提供は法律相談・警察の生活安全課・ハローワークなど。相談者の状況や希望に応じて対応できるよう、相談先の一覧を作成するなどして情報提供を継続する。		
令和6年度 (2024)	【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数18回/年 【評価の理由】①②③計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりそい相談から関係機関への情報提供</li> <li>・相談者本人への他の相談先の情報提供回数</li> <li>・よりそい相談事業受託者がDVや各種ハラスメントに関する研修を受講し、市と情報共有する(2回)</li> </ul>		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	2	男女間のあらゆる暴力の根絶
基本施策	1	男女間のあらゆる暴力の根絶
施策の方向	(2)	相談体制の充実と関連機関との連携
事業・施策No.	8	DVの被害者に対する支援
事業の内容		DV被害者の安全確保のための一時保護及び自立に向けた支援を、関係機関との連携の下行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	【相談件数】 一般相談 13人 DV相談 10人【再掲】	—	関係機関につなぐことで解決の糸口が見えることもあるため、連携は欠かせないが、より多くの機関とつながっている必要がある。 男性相談は現在非常に少ないが、今後増加していくことが考えられるため、対応のスキルアップが必要。
令和4年度 (2022)	①令和4年4月1日付で、女性相談員を設置した。 ②専任職員の令和5年度予算要求を行った。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①対面型の交流会・研修会に5回参加 ②正規職員で対応 相談実人数 56名  【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は28名。 関係機関との連携により、目標を超える相談実績があった。他市町の女性相談員と積極的に交流し、情報収集を行うことで、より適切な支援につなげた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】 ①対面型の交流会・研修会に4回参加 ②正規職員で対応 相談実人数 51名  【評価の理由】 経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	①女性相談員担当者研修・交流会を年3回以上受講 ②要保護児童対策地域協議会の活用(ネットワークの活用)		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(1)	男女共同参画に関する情報収集・提供の推進
事業・施策No.	9	市政情報の収集と提供
事業の内容		市政における男女共同参画に関する情報を関係各課と連携することで収集し、市内公共施設などへのチラシ、パンフレット配布を通じて、市民へ情報提供します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	地域福祉課や産業振興課と連携して、パートナーシップ宣誓制度やリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報提供を行った。	A	それぞれの事業担当課と連携した情報収集と提供に努めてきた。課題として、チラシやパンフレットなど紙媒体の周知は配布数などを管理しやすい一方で、実際に市民の目にどれだけ触れたかが把握しづらいことが挙げられる。
令和4年度 (2022)	①性の多様性に関するリーフレット配布数約500部(配布先:各種イベント・公共施設。全3箇所)。【再掲】		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】家事シェアリングリーフレットの配布先は8箇所。 ①計画どおり実施した</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】家事シェアリングに関するリーフレットを作成し、市民向けセミナーや公共施設へ配布した。当初の予定よりも部数を減らした関係から、配布先の数は目標に達しなかったが、ページ数を増やすことで掲載情報を充実させることができた。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】パープルリボンプロジェクトの周知リーフレットを23箇所へ、作成・配布した。</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】11月が啓発月間の「オレンジリボン(児童虐待防止)」担当課と協働し、より効果の高い啓発に努めた。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充</p> <p>2 継続</p> <p>3 見直し</p> <p>4 休止</p> <p>5 完了(事業の目標を達成した)</p>		2
今後の方向性 (内容)	<p>今後はデジタル媒体の活用を中心にし、アクセス数のカウントなどによる情報提供の結果を測る方法についても検討する。</p>		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(1)	男女共同参画に関する情報収集・提供の推進
事業・施策No.	10	市政情報の収集と提供
事業の内容		国・県、先進事例を持つ自治体の情報を収集し、市の様々な広報手段により、市民へ情報提供します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	男女共同参画に関するチラシの配架、ポスターの掲示を行った。また、内閣府実施事業の性暴力に関するオンライン相談「Cure Time」をSNSで周知した。	B	様々な事業を進めるにあたり先進自治体への聞き取りや情報収集は継続して行っているが、得た情報を効果的に市民へ提供できているとはいえない。
令和4年度 (2022)	①県内自治体の男女共同参画施策について、随時間取りを行った(年6回)。 ②庁内推進委員会時に県内先進事例を紹介した(3事例)。 ③未実施。 ④広報こさいに掲載しているコラムと併せて、国や県の事業を紹介した(年6回)。 ⑤SNS・ウェブサイトによる広報を年29回行った。【再掲】		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】SNS・ウェブサイト等による広報回数37回。 ①②③④計画どおり実施した。  【評価の理由】SNS(X:旧Twitter)で最もユーザーの反応があった投稿は、「男性育休セミナー」に関する投稿であり、SNSユーザーの関心は高いものであったことが同えた。 庁内の情報共有として、防災、学校教育、産業担当課と情報交換の時間を設け、事例を共有した。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】SNS・ウェブサイト等による広報回数45回。  【評価の理由】他自治体のジェンダー表現ガイドラインを参考に庁内研修を開催し、他自治体の事例等の情報を共有した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	市民への広報媒体として最も広く読まれている広報こさいのコラム欄(隔月掲載)を効果的に活用した情報提供方法を検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(2)	男女共同参画に関する調査・研究と推進
事業・施策No.	11	意識調査の実施
事業の内容		市民の男女共同参画に対する認知度や理解度、ニーズを把握するために、意識調査を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	企画政策課の行う市民意識調査に、男女共同参画に関する意識を問う設問や性的少数者の方が市内で生活しやすいと思うかなどの設問を追加した。有効回答数は715票(47.6%)。	A	企画政策課が毎年行う「市民意識調査」の設問に固定的な性別役割分担に関する意識を問うものを入れることで、男女共同参画の調査が行えない年にもこの数値は追うことができるようになっている。 傾向として、企画政策課実施の調査は「固定的性別役割に同感しない」人の割合が、市民課実施の調査より高い結果となっている。調査規模や設問の流れによる回答の振れ幅に注意する必要がある。
令和4年度 (2022)	①市民意識調査において、男女共同参画に関する設問を1問設置した。 ②男女共同参画週間時に、市立図書館へ特設コーナーを設置し、男女の性別役割意識について問うシール式のアンケートを実施した。 ③性の多様性に関する職員研修受講後アンケートを行った(参加者115名、回答率83%)。【再掲】		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】市民意識調査の男女共同参画の性別役割分担意識について、「同感しない」割合62.7%。 ①②③④計画どおり実施した。 【評価の理由】市民意識調査の結果について、男女共同参画の性別役割分担意識に「同感しない」割合は62.7%であり、前年度より2.7ポイント上昇した。 性別でみると、「同感しない」は、「男性」56.2%、「女性」67.9%と「女性」の方が11.7ポイント高かった。 年齢別でみると、「同感しない」は、「16～29歳」が最も高く、「70歳以上」が最も低く、年代が上がるほど割合が低くなる傾向がみられた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】市民意識調査の男女共同参画の性別役割分担意識について、「同感しない」割合49.0%。 【評価の理由】前回の市民課実施調査(R2年度)46.7%よりも2.3ポイント上昇したが、R5年度実施の企画政策課調査では「同感しない」割合が60%を超えることから、調査による数値の振れ幅に注意しながら、固定的な性別役割分担意識を変えていく周知啓発に引き続き努める。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	市民課が男女共同参画の単独調査を行う年以外は今後も継続して企画政策課調査により市民意識を把握する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(2)	男女共同参画に関する調査・研究と推進
事業・施策No.	12	先進事例の研究
事業の内容		男女共同参画に関する先進的な事例の情報を収集し、市政への反映を検討します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	国立女性教育会館の主催する女性相談事業に関する研修を受講し、今後の相談事業の課題・ニーズ等を整理した。 また、静岡県主催の公文書における性別欄の見直し研修に参加し、研修内容を総務課に情報提供した。	B	様々な事業を進めるにあたり先進自治体への聞き取りや情報収集は継続して行っているが、収集した情報を施策にどのように活かすかが重要である。
令和4年度 (2022)	①県内自治体の男女共同参画施策について、随時聞き取りを行った(年6回)。【再掲】 ②担当職員が、男女共同参画に関する研修を4回受講した。		
令和5年度 (2023)	【実績】他市の先進事例の収集数は5自治体。 ①②計画どおり実施した。  【評価の理由】他自治体へ聞き取りをした内容は、男女共同参画推進計画の策定に関する内容が4自治体、審議会等への女性登用に関する事例が1自治体。庁内研修時に事例共有するなど、情報を活用した。 職員が参加した研修は、担当者研修1回、防災関連研修2回、男女共同参画団体交流会1回、理工チャレンジ事例発表会1回。		
令和6年度 (2024)	【実績】他市の先進事例の収集数は5自治体  【評価の理由】他自治体へ聞き取りをした内容は、市民意識調査・フェムテック関連事業・パープルリボン啓発・ジェンダー表現に関する内容など。調査や庁内研修時に事例共有するなど、情報を活用した。 職員が参加した研修は、ジェンダー表現研修1回、防災関連研修2回、アンコンシャスバイアス研修1回。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	事業No.10と統合し、「国・県、先進事例を持つ自治体の情報を収集し、市民への情報提供や市政への反映を行う」とする。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(3)	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し
事業・施策No.	13	講習会や講座などによる意識づくり
事業の内容		市民があらゆる場面での男女共同参画に対する意識を持てるよう、男女共同参画週間での講演会の実施や定期的なセミナーを開催します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	対面による講座は実績なし。男女共同参画週間の広報活動は、市立図書館への特設コーナー設置及び、公共施設でのポスター・モニター広告による周知に留まった。	A	<p>パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の開始に伴う性の多様性に関する講座や、育児・介護休業法改正に伴う男性育休に関する講座など、時流に合わせた内容の講座を開催してきた。しかし男女共同参画に関する講座事業は、難しく感じる人も多く、参加者が集まりづらい。</p> <p>他課と共催で講座をするなど、市民が広く関心を抱くような内容としたり、最初から対象団体を設定して一般参加も可とするなど、参加者集めが目的とならないような事業の企画が必要である。</p> <p>また、毎年度新たな講座企画を単発で行うよりも、2年に1回程度のスパンで連続講座を行う方が、各テーマをより深掘した内容とすることができるのでは、と考える。</p>
令和4年度 (2022)	①性の多様性をテーマに、静岡大学の教授・学生をファシリテーターとして迎え、市民向けセミナーを開催した(参加者21名)。【再掲】 ②未実施。【再掲】		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】市民向けセミナー参加者アンケートにおける有用度「とても役に立つ」「役に立つ」の合計は86%。 ①計画どおり実施した。 ②未実施。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】男性育休セミナー参加者アンケートでは「(男性育休の)制度面と実際に企業が実施している取組が分かり、理解が深まった。」といった声があった。 家事講座は開催に至らなかったが、男性育休セミナーに併せて家事シェアリングに関するリーフレットと家事を楽にするグッズを配布した。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>※R6は実績と評価の理由欄より 【実績】市民向けトークイベントを浜名湖ポートレース場で開催した。(来場者数延べ550名)アンケートボード「面白かった(よかった)」100% 【評価の理由】市単独で開催する講座よりも多くの人に話を聞いていただき、広く周知できた。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充                      2 継続                      3 見直し                      4 休止                      5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	実施内容が事業No.1と重複しているため統合する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	学校教育課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(3)	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し
事業・施策No.	14	男女共同参画の視点に立った教育の推進
事業の内容		男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同参画の視点に立った教育をライフステージに合わせて実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	人権擁護委員による人権教室を実施し、人権の尊重について学んだ。社会科、家庭科、道徳など学校教育全体を通じて、男女平等について考える機会を設けた。日頃からジェンダーにもとづく偏見や不平等がなくなるように意識して教師が子どもに関わっている。	A	授業だけでなく、学校教育全体を通じて男女共同参画について考える機会を設けていきたい。
令和4年度 (2022)	社会科、家庭科、道徳科などで男女共同参画について学ぶ機会を設けた。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】人権擁護委員による人権教室の実施した。また、社会科、家庭科、道徳科などで男女共同参画を扱った(11校)。 【評価の理由】男女共同参画を含めて人権に関わる事例を幅広く扱い、人権尊重に対する児童生徒の意識向上を図った。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】人権擁護委員による人権教室を実施した。また、社会科、家庭科、道徳科などで男女共同参画を扱った。(11校)。 【評価の理由】男女共同参画を含めた人権に関わる事例を幅広く扱い、人権尊重に対する児童生徒の意識向上を図った。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	人権擁護委員による人権教室を実施し、男女共同参画を含めた人権に関わる事例を幅広く扱う。社会科、家庭科、道徳科など授業や学校教育全体を通じて、男女平等について考える機会を設ける。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	幼児教育課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(3)	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し
事業・施策No.	14	男女共同参画の視点に立った教育の推進
事業の内容		男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同参画の視点に立った教育をライフステージに合わせて実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	人権擁護委員による人権教室を年1回、市内公立幼稚園・保育園・こども園の一部(2園)及び私立保育園・こども園の一部(1園)において、園児・保護者を対象として開催した。「思いやりの心をもつ」「言葉の大切さ」「命を大切にする」ことを紙芝居等で知らせた。	A	公立園の減少に伴い、人権教室の開催回数も減少している。私立園への啓蒙を行い、回数を増やしていきたい。
令和4年度 (2022)	人権擁護委員による人権教室を年1回、市内公立幼稚園・保育園・こども園の一部(6園)及び私立保育園・こども園の一部(3園)で実施した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】人権擁護委員による人権教室を年1回、市内公立幼稚園・こども園(5園)及び私立保育園・こども園の一部(2園)で実施した。 【評価の理由】園児・保護者を対象として開催した。「思いやりの心をもつ」「友達との関り方」「命を大切にする」ことを紙芝居等で知らせた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】人権擁護委員による人権教室を年1回から2回、市内公立幼稚園・こども園(4園)及び私立保育園・こども園の一部(2園)で実施した。 【評価の理由】園児・保護者を対象として開催した。「思いやりの心をもつ」「友達との関り方」「命を大切にする」ことを紙芝居等で知らせた。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	公立園や希望する私立園での人権教室を年に1回行う。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	地域福祉課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(3)	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し
事業・施策No.	14	男女共同参画の視点に立った教育の推進
事業の内容		男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同参画の視点に立った教育をライフステージに合わせて実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	湖西市人権擁護委員連絡協議会の事務局として、人権擁護委員の人権教室実施を支援。 【人権教室】対象：市内の教育・保育機関に通う児童等。内容：紙芝居・DVD等の教材を用いた人権意識の啓発。開催回数：7回。【人権啓発教材の貸出】新型コロナウイルス感染症の影響で人権教室を中止した園・学校に、紙芝居・DVDを貸出。実績：5件。【再掲】	A	性の多様性をテーマにした人権教室は主に小学校低学年に向けたプログラムである。 性の多様性に関する課題・問題は年齢を重ねるごとに変化するため、継続的な教育が必要であるが、小学校中学年以上のプログラムがない状況である。
令和4年度 (2022)	①保育園・幼稚園・こども園：9回 小学校：6回、中学校：2回 参加総数約1,380人 ②小学校1校へ7点		
令和5年度 (2023)	【実績】新プログラム作成(1個) 【評価の理由】主に小学校低学年に向けた新プログラムであり、多くの人が抵抗なく、LGBTsについて学ぶことができる教室を作成した。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】1校 【評価の理由】小学校低学年を対象に、自分らしくあることのすばらしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を養う教室を実施した。 ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	男女共同参画の視点に立った教育をライフステージにあわせて実施できるよう、小学校中学年以上を対象とした新たなプログラムを検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	3	制度及び慣行への配慮
基本施策	1	男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し
施策の方向	(3)	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し
事業・施策No.	14	男女共同参画の視点に立った教育の推進
事業の内容		男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同参画の視点に立った教育をライフステージに合わせて実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	パープルリボン・プロジェクト実施時に、市内公共施設等で配布したリーフレットにて、若年層に被害が多い性暴力を含めたデートDVIについて言及した。	B	市内中学校や高校を対象とした周知・啓発は継続して行っているが、リーフレット等の配布にとどまっておらず、効果的な啓発ができていない。 課題として、実際の教育現場でどのような男女共同参画の実践が行われているかを把握しておらず、いざというときに連携しづらい体制がある。
令和4年度 (2022)	①市民向けセミナー(性の多様性)について、周知チラシを約500部配布した(市内幼保こども園教諭・小中高等学校教諭)。 ②啓発リーフレット配布数2000部(そのうち、市内高校に対して1000部)。 ③未実施。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】教育分野の周知・啓発2回 ①②計画どおり実施した。  【評価の理由】小中学生向けに、内閣府の理工チャレンジに関するチラシを配布した(配布数187部)。夏休みの小中学生が集まるイベントにて理工チャレンジに関するチラシを配布することで、理工分野への関心を高めた。 パープルリボン・プロジェクトに関するリーフレットを市内高校、市立中学校へ配布した(配布数1,210部)。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】教育分野の周知・啓発  【評価の理由】パープルリボン・プロジェクトに関するリーフレットを市内高校、市立中学校へ配布した(配布数1,150部)。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	年に1回でも教員向け研修の場や会議の場に出向き、男女共同参画の実践内容に関する聞き取りを行ったり、アンケートを行ったりするなどしてまずは実態把握する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	1	政策・方針決定の場へ女性の参画促進
施策の方向	(1)	審議会・委員会などへの女性の参画推進
事業・施策No.	15	市の審議会などへの女性の積極的な登用
事業の内容		各種審議会などに女性が登用されるよう各課に依頼を行うなど、各種審議会などに女性が登用される環境を整備します。また、各種審議会などへの女性の積極的な登用に全課で取り組みます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	他課の女性委員の登用について相談対応した(2件)。 女性登用数調査の際に、女性委員が0人の審議会・協議会については、所管課の担当者に聞き取りを行った。	B	計画期間の女性委員割合は、※24.4%⇒26.5%⇒28.1%⇒29.0%となり、毎年少しずつ増加している傾向にある。各課の委員改選の際に、女性登用について依頼通知を出したり、「当該分野で活躍している女性」について問合せがあれば対応したりなど実施してきた結果が一部であらわれているが、計画目標の「40.0%以上」には遠い。 また課題として、各課の委員会等で同じ女性に委員を依頼していることがあり一部の女性に負担が偏ってしまうことや、会議の目的に応じて充て職を変えられないものがあるなどがあげられる。 ※R2計画策定時の「32.6%」は保健推進員を含めた数値で目標設定しているが、R5年度から保健推進員が会議体のある組織でなくなったことから、R3～R4は保健推進員を除いた数値をあらためて算出した。
令和4年度 (2022)	①②③R4年度の各種依頼により、R5年度の審議会等の女性割合は28.1%となった(R4年度26.5%)。※ともに保健推進員を除く数値。 ④男女共同参画審議会、文化の香るまちづくり事業補助金審査会は女性割合50%。多文化共生社会推進協議会の女性割合35.7%。		
令和5年度 (2023)	【実績】令和5年度の審議会などの女性委員の割合28.1%(前年度26.5%) ※詳細は別紙1 ①②③計画どおり実施した。 【評価の理由】庁内推進委員会や職員研修など、審議会等への女性の登用について必要性和ポイントを伝える機会を設けた。庁内への依頼と委員を推薦する外部組織への啓発も含めて、引き続き実施する。 【参考】市民課が事務局を務める審議会、協議会、審査委員会の女性委員割合の平均は、45.2%。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】令和6年度の審議会などの女性委員の割合29.0%(前年度28.1%) 【評価の理由】各課の委員改選の際に、女性登用について依頼通知を出したり、「当該分野で活躍している女性」について問合せがあれば対応したりなど実施してきた結果が一部であらわれている。 ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	庁内向けの女性委員登用依頼の際に、各分野で委員を務めている女性委員の情報を共有する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	1	政策・方針決定の場へ女性の参画促進
施策の方向	(2)	事業所や各種団体などにおける女性の雇用促進
事業・施策No.	16	各種団体などにおける女性の雇用促進
事業の内容		女性雇用に対する意識啓発のために、企業や市民団体を対象に出前講座を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	出前講座の実績なし。	B	市の出前講座では「火災予防教室」「応急手当教室」「大規模地震に備える」といった内容が人気メニューとなっており、男女共同参画単体での講座申込み・実施は令和5年度の1回のみであった。令和6年度に市内高校からの依頼で実施したように、多文化共生との抱き合わせで「DE&I」といった企業や若年層に関心を持ってもらいやすいよう、依頼のあった団体の意向に応じて、内容を柔軟に変更するなどの対応が必要である。
令和4年度 (2022)	男女共同参画月間の周知と併せ、市役所だよりによる周知を1回行った(出前講座の実績0件)。 <b>【再掲】</b>		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】チラシを見て出前講座の申込みをした団体数0団体(出前講座実績は1団体)。 ①未実施。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】出前講座全体の周知は市としてウェブサイトで行っているが、本講座に特化したチラシの配布は行わなかった。よって開催実績の1回はウェブサイトを見て申し込んだものである。教育機関や市内企業へ向けた出前講座の周知は、引き続き実施する。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充          2 継続          3 見直し          4 休止          5 完了(事業の目標を達成した)</p>		2
今後の方向性 (内容)	男女共同参画のみでの講座実施にこだわらず、幅広い年代や対象から興味を持ってもらえるような講座内容を企画する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	1	政策・方針決定の場へ女性の参画促進
施策の方向	(3)	女性の人材育成の支援
事業・施策No.	17	人材発掘・育成のための学習機会・情報提供
事業の内容		女性の意識醸成、人材育成を支援します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	ダイバーシティ・マネジメント推進事業において多様な人材が活躍できる職場づくり等に関するセミナーを実施。 女性の再就職支援事業において再就職支援セミナーを実施。	C	市内は製造業が多く、女性の希望職種（事務、接客など）と市内の産業構造がマッチしておらず、女性の就職先が少ない。また、育児中の女性は働く場所や時間に制約のある方が多い。このような状況を改善すべく、働く場所や時間に囚われない在宅ワークに関するセミナーを実施。多くの申し込みがあり、在宅ワークのニーズがあることがわかった。 持続的に業務を請け負い、収入を得るまでの支援が必要。またセミナーに参加したある程度知識やスキルを身に付けたが、その後を踏み出せず活用できてない人にも向けて、一歩踏み出して、チャレンジする機会を創出する必要があるのではと、考える。
令和4年度 (2022)	①女性の再就職支援セミナー8回開催 ②起業講座1回開催 ③企業説明会1回開催		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①延べ53名②延べ33名③延べ8名 ①計画どおり実施した。 ②未実施。 【評価の理由】①セミナー満足度96%②セミナー満足度80%③企業説明会満足度 求職者:87.5%、企業:83.3% 参加者数は、概ね目標値を達成した。 また、参加者アンケートより、満足度の高いセミナー及びイベントを実施することができた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】 ①セミナー満足度88.5% ②セミナー満足度705 【評価の理由】 ①計画どおり実施した。 ②受講者のスキルに差があり、対面参加者にはフォローが出来たが、オンライン参加者、アーカイブ動画視聴者にはフォローが難しく、このような結果になった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	①在宅ワークに関する概要を理解するためのセミナーの実施 ②在宅ワークに関するスキル習得及び向上を目的としたセミナーの実施		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	1	政策・方針決定の場へ女性の参画促進
施策の方向	(3)	女性の人材育成の支援
事業・施策No.	17	人材発掘・育成のための学習機会・情報提供
事業の内容		女性の意識醸成、人材育成を支援します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	人材育成に関する県主催等の講座があった場合は、関係課へ情報提供するほか、チラシを配架している。	C	女性の人材育成に特化した事業を市民課で実施することはできなかったが、令和6年度に実施した「事業所調査」のうち、優良取組事例を持つ事業所へ実施したヒアリングの結果、女性の人材育成を積極的に実施している事業所とのつながりができた。今後、民間企業で先進的な取組をしている事例を市全体でどのように共有していくか、産業分野との連携による展開が必要となる。
令和4年度 (2022)	①性の多様性をテーマに、静岡大学の教授・学生をファシリテーターとして迎え、市民向けセミナーを開催した(参加者21名)。 <b>【再掲】</b> ②静岡県事業をSNS・ウェブサイトにより3回周知した。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	<b>【実績】</b> 市民向けセミナー参加者アンケートにおける有用度「とても役に立つ」「役に立つ」の合計86%。 ①計画どおり実施した。 ②未実施。 <b>【評価の理由】</b> 男性育休セミナーでは、事業所の事例発表の中で、「男性の家事・育児参画を進めることが女性活躍推進につながる」といった内容もお話いただいた。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	<b>【実績】</b> 市民向けイベント参加者の満足度(アンケート回答:「とてもよかった」「よかった」の合計)100% <b>【評価の理由】</b> 様々な分野で活躍する女性を紹介することで、女性の職業選択の可能性を広げることに寄与した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	えるぼし(厚生労働省の女性活躍推進企業認証マーク)の取得事例や方法などについて、事業所へ向けた情報提供を実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	地域活動における意識醸成と参画促進
事業・施策No.	18	地域活動の担い手育成
事業の内容		男女共同参画に関する情報を地域活動団体に提供したり、男女共同参画に関する各種講座を実施したりすることで、地域活動の担い手を育成します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	男女共同参画推進員の活動は、コロナウイルス流行拡大の影響により実施できなかった。 湖西市民活動センターへも男女共同参画に関するイベントのチラシは配架しており、興味のある人が手に取りやすくしている。 H30年度から自治会に女性役員を登用することで交付金の加算を実施(自治会長10万円、副自治会長・会計は5万円)。令和3年度は、1自治会で自治会長に、3自治会で副自治会長に女性が登用された。	D	男女共同参画に関する市民向け講座事業は毎年度実施しているが、地域活動団体との効果的な連携や情報提供は実施できなかった。 自治会や市民活動団体における担い手不足は各団体の課題として定期的に挙げられるが、今後はより一層深刻化していくことが予見される。女性や若者など多様な人材の活躍がその解決の一助となることや、そうした人材が活躍しやすい団体・地域づくりとは?という視点での取り組みなどが必要となる。
令和4年度 (2022)	①活動実績なし ②R4年度女性自治会長は41自治会中1自治会。対象者に対して、活動に関する聞き取りを行った(1回)。 ③交付実績3件。 ④市民向けセミナー(性の多様性)受講アンケートと併せて、メール配信希望の有無を確認した(2名/21名)。 ⑤自治会役員を対象に、「持続可能な自治会活動」に関する講演会を開催した(参加者79名)。 ⑥KSL(KOSAI SAIKO LABO)にて、市内企業の20～30代の社員13名を対象に、男女共同参画とワーク・ライフ・バランスに関する講座を行った。		
令和5年度 (2023)	【実績】情報発信の希望者累計6名(R5年度2名) ①④未実施。 ②③計画どおり実施した。 【評価の理由】男女共同参画セミナー参加者アンケートにメール案内の希望を問う設問を入れることで、情報発信先を増やした。 今後は、女性役員がいる自治会に対する交付金加算制度について、周知回数を年1回から2回へ増やし、女性役員数増加のための取り組みを行う(令和5年度は4自治会へ交付)。		
令和6年度 (2024)	【実績】自治会役員へ女性を登用している自治会数(全41自治会)7自治会 【評価の理由】令和6年度役員…女性自治会長1自治会、副会長6自治会。女性役員登用制度については引き続き周知や、活用事例を周知する。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	地域活動団体(自治会・市民活動団体)への情報提供及び連携の取組として、事業・施策No.19と統合する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	地域活動団体等との連携の推進
事業・施策No.	19	地域活動団体などへの支援
事業の内容		助成や情報提供により、地域活動団体などを支援します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	市民活動推進のための文化の香るまちづくり事業補助金制度があるが、男女共同参画に関する団体への補助実績はなし。	D	市民活動補助金の助成や情報提供等は継続して実施しているが、男女共同参画の視点から効果的な取組とはなっていない。 他自治体では、市民活動補助金の中に女性の役員が一定割合いる団体への補助として「女性活躍推進」メニューを導入している事例もある。そうした事例も検討しながら、地域活動団体で女性も男性も活躍することが地域の活力に繋がるという視点での取り組みが必要となる。
令和4年度 (2022)	①補助金の交付実績5件。そのうち、男女共同参画に関連する事業は0件であった。 ②R5年度以降の補助金制度の見直しのため、県内自治体の情報を収集した。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】助成金・補助金情報の提供回数1回 ①計画どおり実施した。 【評価の理由】男女共同参画や女性活躍推進に関する助成金・補助金情報について、情報提供を希望する個人へ情報を提供した。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】助成金・補助金情報の提供回数1回 【評価の理由】男女共同参画や女性活躍推進に関する助成金・補助金の情報提供は未実施。市の市民活動補助金の情報提供は市内団体及びウェブサイトにて2回周知した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	地域活動団体（自治会・市民活動団体）への情報提供及び連携の取組として、事業・施策No.18と統合する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	地域活動団体等との連携の推進
事業・施策No.	20	地域活動団体などとの連携
事業の内容		市民活動センターを拠点として、相談体制の整備や情報交換を行い、地域活動団体などとの連携体制を整備します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	市民活動センターへ男女共同参画に関するチラシや情報誌を配架した。【再掲】	C	市民活動センターは湖西市の市民活動団体の拠点として情報提供の場としては活用しているが、男女共同参画の視点から効果的な取組の実施には至らなかった。 今後は公共施設としての機能集約なども見据え、市民活動・男女共同参画・多文化共生の拠点となるような場所づくりが必要となる。
令和4年度 (2022)	①静岡県事業をウェブサイトにより3回周知した。【再掲】 ②ウェブサイトによる周知1回、市役所だよりによる周知1回。そのうち、男女共同参画に関連する情報は0件であった。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】男女共同参画と市民活動に関するセミナー・講座の案内回数0回。 ①②未実施。 【評価の理由】男女共同参画をテーマに活動している市内の団体を市が把握していないことから、情報収集のために「あざれあ交流会」が主催する交流会へ参加したが、市内の団体に関する情報は得られなかった。 今後は、同様の交流会やセミナーの情報を市内の団体へ周知することで、男女共同参画分野への関心を高める。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】男女共同参画と市民活動に関するセミナー・講座の案内回数2回。 【評価の理由】市のファシリテーション講座及び相談会について市内NPO法人や市民活動団体へ案内した。講座参加者の女性割合は31.8%。今後も、男女がともに地域で活躍できる環境を整え、団体との連携を深める。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	市民活動センターの周知も兼ねた広報や情報提供の場としての活用を検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	危機管理課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	21	セミナーや研修による啓発
事業の内容		男女共同参画の視点を取り入れた防災に関するセミナーや研修を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性防災講座を年3回予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止とした。	S	参加者の多くが、自治会、自主防災会の関係者であり、年齢層が高く、20代30代の参加者が少ない。防災や男女共同参画に対する関心や意識は参加者によって異なることから、講座の内容をどれだけ興味深く、参加者にとって身近なものとして提供できるかが課題といえる。
令和4年度 (2022)	地域の防災力向上のため、女性のリーダー役となる人材の育成を目指して女性防災講座を3回開催した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】地域の防災力向上のため、女性のリーダー役となる人材の育成を目指して女性防災講座を3回開催した。 【評価の理由】計画通り女性防災講座を3回実施した。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】女性防災講座を実施し、アンケート回答者の93%「とてもよかった」「よかった」と回答した。 【評価の理由】多くの参加者から好評であった。参加者同士が意見を交わす時間もあったことから、防災や男女共同参画等について多角的に考えることができたと考える。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	地域の防災力向上のため、継続して開催していく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	21	セミナーや研修による啓発
事業の内容		男女共同参画の視点を取り入れた防災に関するセミナーや研修を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	自治会役員を対象とした男女共同参画の視点からの防災講座「男女で取組む災害に強い地域づくり～平常時からの備え」を実施した。参加者数は73名。受講者アンケートでは、「今後の自主防災計画に活かしたい」といった声が上がった。	B	危機管理課主催の女性防災講座との連携という形で男女共同参画の視点を取り入れた講座は継続して実施している。 女性防災講座は「自主防災会から推薦された地域の女性」のみが対象のものだったが、令和5年度からは、10名程度は一般参加もできるよう募集するかたちとした。防災への関心は年々高まっており講座の満足度等は高いものとなっているが、講座を受講した女性が地域でどのように活躍しているか等までを追っていない。女性防災講座で知識を得た女性の活躍の機会について、他自治体の事例も収集しながら事業展開が必要だと認識している。
令和4年度 (2022)	市民課主催の講座開催実績なし。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】女性防災講座に参加する人の数(市民課募集は3名)。自主防災会からの推薦参加は41名。 ①計画どおり実施した。 【評価の理由】第1回女性防災講座開催時に、市広報紙、LINE、チラシの配架で一般参加者を募った。令和5年度から新たに始めた取組みであり、今回は一般参加に繋がらなかったが、継続することで市民が参加する講座の機会創出につながる。 今後も募集を継続し、申込み方法を電話のみから電話と電子フォームへ増やす。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】女性防災講座に参加する人の数(市民課募集は7名) 【評価の理由】第1回女性防災講座開催時に、市広報紙、LINE、チラシの配架で一般参加者を募った。当日の講座の様子について、広報こさいの防災に関するコラムと併せて周知し、開催後の情報提供にも努めた。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	事業・施策No.21～23の取組については危機管理課の担う部分が大きく市民課だけでの実施は現状でもできていない。今後の取組についても危機管理課との密な連携が必要となる。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	危機管理課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	22	地域における防災活動への女性参画の促進
事業の内容		地域の防災活動に女性が参画できる機会を得られるよう、自主防災会などに啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性防災講座を年3回予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止とした。【再掲】	S	参加者の多くが、自治会、自主防災会の関係者であり、年齢層が高く、20代30代の参加者が少ない。防災や男女共同参画に対する関心や意識は参加者によって異なることから、講座の内容をどれだけ興味深く、参加者にとって身近なものとして提供できるかが課題といえる。
令和4年度 (2022)	地域の防災力向上のため、女性のリーダー役となる人材の育成を目指して女性防災講座を3回開催した。【再掲】		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】地域の防災力向上のため、女性のリーダー役となる人材の育成を目指して女性防災講座を3回開催した。 【評価の理由】計画通り女性防災講座を3回実施した。【再掲】		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】女性防災講座を実施し、アンケート回答者の93%「とてもよかった」「よかった」と回答した。 【評価の理由】多くの参加者から好評であった。参加者同士が意見を交わす時間もあったことから、防災や男女共同参画等について多角的に考えることができたと考えられる。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	地域の防災力向上のため、継続して開催していく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	22	地域における防災活動への女性参画の促進
事業の内容		地域の防災活動に女性が参画できる機会を得られるよう、自主防災会などに啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	自治会役員向けに開催した上記講座にて、各自治会・自主防災会にて配布可能な啓発品(リーフレット+マスク)を配布し、講座参加者以外にも広く啓発を行った。	C	女性防災講座での周知は、講座を受講した後の時間での周知・啓発の場として1回の情報提供の質はある程度担保されているが、男女共同参画の視点からの防災について広く市民への周知・啓発はできていない。 市民一般へ関わる内容の啓発(防災備蓄のことや避難所のことなど)は今後も課題となる。
令和4年度 (2022)	危機管理課主催の第1回女性防災講座時に、内閣府男女共同参画局が発行する防災の事例集について説明し、配布した(約60部)。		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】自主防災会の 自主防災会の役員に女性が いる地区数2/61地区。 ①計画どおり実施した。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】危機管理課主催の第1回女性防災講座時に、静岡県警察が発行する防災マニュアルについて説明し、配布した(44部)。自主防災会の役員に女性が いる地区数は、計画策定時(R2年度)からほぼ横ばいであることから、防災担当課と連携しながら、自主防災会へ直接周知する機会を増やしていく。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】自主防災会の役員に女性が いる地区数2/61地区。</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】危機管理課主催の第1回女性防災講座時に、静岡県が発行する防災マニュアルについて説明し、配布した(44部)。自主防災会の役員に女性が いる地区数は、計画策定時(R2年度)からほぼ横ばいであることから、防災担当課と連携しながら、自主防災会等へ直接周知する機会を増やしていく。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充                      2 継続                      3 見直し                      4 休止                      5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	事業・施策No.21～23の取組については危機管理課の担う部分が大きく市民課だけでの実施は現状でもできていない。今後の取組についても危機管理課との密な連携が必要となる。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	危機管理課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	23	防災に関する意思決定機会への女性参画の促進
事業の内容		市の防災担当部署における女性の登用や、防災会議など防災における重要な意思決定の場への女性登用を推進します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	防災会議委員22名のうち、女性委員2名に対し委嘱をしている。 赤十字奉仕団、子ども会連合会の会長・委員長を委嘱しており、災害時における女性等要配慮者の視点を持った識者の意見をいただける体制を整えている。	C	条例により会議の委員はあて職となっており、女性の登用促進を呼びかけてはいるものの各機関の事情もあり、女性委員の割合上昇につながらない。
令和4年度 (2022)	県内の自治体の状況を市民課より提供を受け、課内で情報を共有した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】委員改選時に各機関等に、女性の登用促進を推進していることについて呼びかけをした。 ・防災会議の女性委員割合は、9%  【評価の理由】現在は、赤十字奉仕団、子ども会連合会の委員長・会長を委嘱しており、災害時における女性等要配慮者の視点を持った識者の意見をいただける体制を整えている。 委員改選の際には、会議の趣旨にあわせて女性の適任者を探して依頼することを続ける。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】 ・防災会議の女性委員割合 9% 【評価の理由】 現在は、赤十字奉仕団、子ども会連合会の2名を委嘱し、災害時における女性等要配慮者の視点を持った識者の意見をいただける体制を整えている。 委員改選の際には、会議の趣旨にあわせて女性の適任者を探して依頼することを続ける。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	引き続き、各機関に女性の登用促進を推進していることについて呼びかけを行いつつ、今後は、会議においてこれまで以上に女性の視点による発言をいただけるよう努める。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	4	男女が対等に参画する機会の確保
基本施策	2	地域における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	男女双方の視点を取り入れた防災体制の実施
事業・施策No.	23	防災に関する意思決定機会への女性参画の促進
事業の内容	市の防災担当部署における女性の登用や、防災会議など防災における重要な意思決定の場への女性登用を推進します。	

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	防災会議での紹介実績なし。	D	防災会議の女性委員割合は令和2年度から一貫して変わっていない。 防災会議の委員は条例で以下のように定められており、充て職の占める割合が大きいことが課題として挙げられる（防災会議条例より抜粋）。 （会長及び委員） 第3条 防災会議は、会長及び委員をもつて組織する。 5 委員は、次に掲げる者をもつて充てる。 (1) 静岡県の知事の部内の職員のうちから市長が任命する者 3人以内 (2) 静岡県警察の警察官のうちから市長が任命する者 1人 (3) 市長がその部内の職員のうちから指名する者 8人以内 (4) 教育長 (5) 消防長及び消防団長 (6) 指定地方行政機関の職員のうちから市長が任命する者 1人 (7) 指定公共機関又は指定地方公共機関の職員のうちから市長が任命する者 4人以内 (8) 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから市長が任命する者 5人以内 (9) その他市長が特に必要と認めた者 3人以内
令和4年度 (2022)	①②③防災会議における女性の委員数(R3年度2人⇒R4年度2人)。 市の防災担当部署における女性数(R3年度2人⇒R4年度2人)。 ④県内の、防災会議に女性が多い自治体の事例を危機管理課へ提供した(1回)。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】防災会議の女性委員割合9%。 ①②計画どおり実施した。 【評価の理由】委員改選の際には、女性委員を増やしていけるよう、危機管理課と協働して働きかけを継続する。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】防災会議の女性委員割合9%。 【評価の理由】「内閣府ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査結果について」危機管理課へ情報提供し、県内自治体の状況を共有した。防災会議の女性委員割合は、計画策定時(R2年度)からほぼ横ばいであることから、防災担当課と連携しながら、委員改選の際の働きかけを継続する。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充                      2 継続                      3 見直し                      4 休止                      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	事業・施策No.21～23の取組については危機管理課の担う部分が大きく市民課だけでの実施は現状でもできていない。今後の取組についても危機管理課との密な連携が必要となる。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(1)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進、実現
事業・施策No.	24	ワーク・ライフ・バランスの広報・啓発
事業の内容		広報誌や中小企業対象のメールマガジンなどを通じて、広報・啓発を行います。また。広報・啓発においては、必要性・有効性を広報・啓発するだけでなく、ワーク・ライフ・バランスのロールモデルなど、実効性のある情報を発信していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	育児・介護休業法改正について、メルマガ・市ウェブサイトで広報。時間単位の年次有給休暇制度の導入について、市ウェブサイトに掲載。厚生労働省の両立支援総合サイト等を市ウェブサイトに掲載。	A	・市として直接的に支援できるリソースがなく、紹介に留まる。
令和4年度 (2022)	働き方改革推進支援センターの案内や、イクメンについての情報をメルマガを媒体として、発信した。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】ワークライフバランスに関する厚生労働省のWEBサイトの紹介を3月配信のメルマガで周知した。 【評価の理由】事業者にもメルマガで周知が出来た。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】市公式LINE(事業者向け)を活用した周知をおこなった。 【評価の理由】計画通り実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	ワークライフバランスに関する情報発信		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(1)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進、実現
事業・施策No.	24	ワーク・ライフ・バランスの広報・啓発
事業の内容		広報誌や中小企業対象のメールマガジンなどを通じて、広報・啓発を行います。また、広報・啓発においては、必要性・有効性を広報・啓発するだけでなく、ワーク・ライフ・バランスのロールモデルなど、実効性のある情報を発信していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	広報こさい(1月15日発行号)において、男女共同参画コラムを掲載した。家庭内の家事育児分担に関する内閣府調査のデータや、内閣府の啓発資料「夫婦が本音で話せる魔法のシート」の紹介を行った。	B	主に広報こさいコラムで定期的に「ワーク・ライフ・バランス」を取り上げたり、市民向け講座を実施したりといった取組をしてきた。 令和6年度に実施した「事業所調査」のうち、優良取組事例を持つ事業所へ実施したヒアリングの結果、ワーク・ライフ・バランスについて効果的な取組をしている市内事業所とのつながりができた。今後、民間企業で先進的な取組をしている事例を市全体でどのように共有していくか、産業分野との連携による展開が必要となる。
令和4年度 (2022)	①庁内研修は未実施、出前講座の実績は0件。 ②KSL(KOSAI SAIKO LABO)にて、市内企業の20～30代の社員13名を対象に、男女共同参画とWLBに関する講座を行った。【再掲】		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】市民向けセミナー参加者アンケートにおける有用度「とても役に立つ」「役に立つ」の合計86%。 ①②③④計画どおり実施した。 【評価の理由】男性育休セミナー参加者アンケートの自由意見では「(男性育休の)制度面と実際に企業が実施している取組が分かり、理解が深まった。」といった声があった。 セミナーの参加者が20名未満であったことについて、開催方法や時期、市民にとって関心の高いテーマを設定するなどの工夫により改善したい。 出前講座は1回実施した(27名参加)。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】男女共同参画又は性の多様性出前講座の実施回数1回 【評価の理由】出前講座は対象が高校生であったことから、「男女共同参画の基礎知識やDE&Iなどの最新情報」に内容を絞ったため、ワーク・ライフ・バランスに関する情報発信はなかった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	くるみん（厚生労働省の子育てサポート企業認証マーク）の取得事例や方法などについて、事業所へ向けた情報提供を実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(1)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進、実現
事業・施策No.	25	就労相談支援
事業の内容		就労を希望する女性に対する就労相談や情報提供の充実に努めます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性の再就職支援事業においてキャリアコンサルタントによる個別相談を実施。(参加者:5名)	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談内容としては、就職に関することから仕事の進め方や単価の相場など幅広く寄せられており、相談者が各フェーズごとに何回も相談するなど、伴走支援の仕組みが構築されている。実際に就職に繋がったり、一歩踏み出すための機会となっている。</li> <li>相談者は積極的に事業に参加した人ややる気のある人など限られているため、キャリア相談の成功例を紹介するなどして参加に係るハードルを下げることで、より新規の相談者を増やしていく必要があるのでは、と考える。</li> </ul>
令和4年度 (2022)	個別キャリア相談2コマ×3日実施		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】個別キャリア相談2コマ×2日実施 【評価の理由】3名の方が参加した。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】20名が参加した 【評価の理由】計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	<p style="text-align: center;"> <b>1 拡充</b>      <b>2 継続</b>      <b>3 見直し</b>      <b>4 休止</b>      <b>5 完了(事業の目標を達成した)</b> </p>		2
今後の方向性 (内容)	引き続き個別キャリア相談を実施していく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(1)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進、実現
事業・施策No.	25	就労相談支援
事業の内容		就労を希望する女性に対する就労相談や情報提供の充実に努めます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		D	女性相談利用者への情報提供などは継続して実施してきたが、就労を希望する女性へ広く周知するには至っていない。 「就労を希望する女性」向けの情報提供は、ハローワークや民間の求人などで既にされているが、男女共同参画の視点でどういった情報提供ができるのか、必要とされているのかは今後検証が必要な部分である。
令和4年度 (2022)	ハローワークの紹介実績1件。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数7回。 【評価の理由】相談先の情報提供は法律相談・警察の生活安全課・ハローワークなど。相談者の状況や希望に応じて対応できるよう、相談先の一覧を作成するなどして情報提供を継続する。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数18回 【評価の理由】産業振興課の「女性の再就職支援事業」をあざれあナビへ掲載依頼するなど、連携による周知をした。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	まずは湖西市の「就労を希望する女性」が必要としている情報を把握する必要がある。産業分野との連携により把握できないか検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	26	男性の家庭生活などへの参画を促す広報・啓発
事業の内容		男性の家庭生活や育児、介護などへの参画を重視した広報・啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	広報こさい(1月15日発行号)において、男女共同参画コラムを掲載した。家庭内の家事育児分担に関する内閣府調査のデータや、内閣府の啓発資料「夫婦が本音で話せる魔法のシート」の紹介を行った。【再掲】	B	主に広報こさいコラムで定期的に「男性の育児・介護休業」を取り上げたり、市民向け講座を実施したりといった取組をしてきた。日本全体の男性の育休取得は制度の後押しもあり徐々に増えているが、令和6年度湖西市市民意識調査の「問21.あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境にありますか」という設問で育児休業を「取得しやすい」と答えた男性は20.0%、介護休業12.3%という結果だった。湖西市の産業上の特性なども考慮しながら、市内で男性の育休取得を推進している事業所の事例把握をする必要がある。
令和4年度 (2022)	①男女共同参画コラムにて、育休取得者の声を取り上げ、法改正及びイクメンプロジェクトについて周知した(1回)。 ②コラム掲載に合わせて、育休取得した男性職員に聞き取りを行った。		
令和5年度 (2023)	【実績】リーフレットの企業等への配布数0。 ①計画どおり実施した。 ②リーフレット配布は実施したが、企業宛には配布していない。 ※R5は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】家事シェアリングに関するリーフレットは、当初の予定よりも部数を減らしたことで、企業へ配布するリーフレットがなくなり、目標達成には至らなかったが、作成したリーフレットは、セミナー参加者及び公共施設へ配架することで、広く周知に努めた。		
令和6年度 (2024)	【実績】男性の家庭生活などへの参画に関する情報発信回数0回 ※R6は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】未実施		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	男性の育児休業・介護休業の取得事例を広く把握し、市民向け・事業所向けにそれぞれ周知する機会を設ける。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	健康増進課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	26	男性の家庭生活などへの参画を促す広報・啓発
事業の内容		男性の家庭生活や育児、介護などへの参画を重視した広報・啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		A	目標値は達成したが、参加者数は少ない状況だった。 父親の参加を促すための募集方法や、子どもが習い事の用事があり参加できない状況もあり、実施する日程についても検討が必要。
令和4年度 (2022)	湖西市健康づくり食生活推進協議会主催で、メンズクッキング教室を1回開催した(参加者8名)。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】①実施回数1回、参加者数11名(募集定員45%の参加) ②実施回数1回、参加者数8組16名(募集定員66%の参加) 【評価の理由】①料理初心者の男性でも簡単に作れるよう、メニューとし、食生活改善推進員が調理のサポートをしながら実施した。 ②食生活改善推進員が調理のサポートをしながら、親子で楽しんで調理体験が行えた。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】教室参加者数5組10人(定員12組) 41.6%の参加 【評価の理由】目標値は達成したが、参加者数は少ない状況だった。 父親の参加を促すための募集方法や、子どもが習い事の用事があり参加できない状況もあり、実施する日程についても検討が必要。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	参加者募集の広報を、学校を通してではなくこども会連合会を通して行っていく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	健康増進課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	27	男性を対象とした家事講座などの実施
事業の内容		男性が家事・育児に参画できるよう、男性を対象とした料理教室などを実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	新型コロナウイルス感染防止のため、講座実績はなし。	A	目標値は達成したが、参加者数は少ない状況だった。 父親の参加を促すための募集方法や、子どもが習い事の用事があり参加できない状況もあり、実施する日程についても検討が必要。
令和4年度 (2022)	湖西市健康づくり食生活推進協議会主催で、メンズクッキング教室を1回開催した(参加者8名)。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】①実施回数1回、参加者数11名(募集定員45%の参加) ②実施回数1回、参加者数8組16名(募集定員66%の参加) 【評価の理由】①料理初心者の男性でも簡単に作れるよう、メニューとし、食生活改善推進員が調理のサポートをしながら実施した。 ②食生活改善推進員が調理のサポートをしながら、親子で楽しんで調理体験が行えた。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】教室参加者数5組10人(定員12組) 41.6%の参加 【評価の理由】目標値は達成したが、参加者数は少ない状況だった。 父親の参加を促すための募集方法や、子どもが習い事の用事があり参加できない状況もあり、実施する日程についても検討が必要。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	参加者募集の広報を、学校を通してではなくこども会連合会を通して行っていく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	27	男性を対象とした家事講座などの実施
事業の内容		男性が家事・育児に参画できるよう、男性を対象とした料理教室などを実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	新型コロナウイルス感染防止のため、講座実績はなし。	C	令和3～4年度は感染症拡大の観点から事業を実施しなかったが、男性を対象とした家事（料理教室）は他課に類似事業があることから、男女共同参画担当部署単独で事業実施するよりもその場を活用した周知・啓発を行う方が効果的であるという結論に至った。
令和4年度 (2022)	未実施。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】家事講座の参加者の満足度(アンケート回答:「とても満足した」「満足した」の合計)0%。 ①未実施。 【評価の理由】家事講座 & 交流会の開催実績はないが、セミナーのテーマを「男性育休」とし、子育て支援センターなどで、子育て中の男性やプレパパの参加を呼び掛けた。 男性を対象とした家事講座は他課に類似事業があることから、男女共同参画の分野からは家事シェア等に関する情報発信を継続するものとする。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】家事シェアリングリーフレットの配布部数30部 【評価の理由】健康増進課主催の「父と子のヘルスアップ教室」の際に、「おとう飯」と「家事シェアリング」リーフレットを配布した(配布数30部)。配布数は目標に達していないものの、本セミナーへの参加者は家事参画意識の高い層が参加していることから、効果的な周知となったといえる。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	男女共同参画担当部署単独での料理教室実施は行わない代わりに、内閣府男女共同参画局の「おとう飯」レシピや男性の家事・育児に関する啓発について、父子料理教室を担当する健康増進課や、産業分野との連携を検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	28	男性の育児力向上と子育て意識の醸成
事業の内容		家庭教育サポート講座の実施や男性が参加しやすい育児（子育て）に関するイベントの広報・実施により育児力の向上と子育て意識の醸成を図ります。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	【子育て支援センター事業】 わくわく広場・たまごちゃん広場を実施9,448人 延べ利用人数:26,328人 【にこにこ子育て支援事業】 市内公共施設5ヶ所を実施。延べ参加人数1,200人	B	共働き家庭が増える中、平日の講座は利用者が限定されてくるため、休日にも参加できるイベントを増やす必要がある。
令和4年度 (2022)	①父親が来館する割合は増えている。父親のみの単独でこどもと来館することも増えてきた。土日にも手遊びや読み聞かせ等を行う「わくわくタイム」を実施したところ、父も参加することが多々あった。 ②ウェブサイトに掲載したり、ポスターを貼って周知したり、LINEで周知したりした。		
令和5年度 (2023)	【実績】①100% ②30.5% 【評価の理由】①参加した父親からは、「楽しく子供と触れ合うことができた」「子供との遊び方が分からなかったので参考になった」等好評であった。 ②土日に来館する父子が増えてきている。		
令和6年度 (2024)	【実績】 年間を通し、週末や祝日にも遊びの広場を開催 子育て講座「パパと遊ぼう」「たまごちゃん」の実施 【評価の理由】 休日は、家族連れや父子で遊びにくる親子が増えている。 父親の育児参加を目的とした「パパと遊ぼう」は、参加した父親から子どもと楽しく遊ぶことができたと好評であった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	休日のイベントを増やし、父親の育児参加の機会を増やす。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	スポーツ・生涯学習課
-----	------------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	28	男性の育児力向上と子育て意識の醸成
事業の内容		家庭教育サポート講座の実施や男性が参加しやすい育児（子育て）に関するイベントの広報・実施により育児力の向上と子育て意識の醸成を図ります。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	ふたば学級に5名、家庭教育学級に3名の父親参加があった。	S	休日や夏休みの事業実施で、より多くの参加を促す。
令和4年度 (2022)	親子であそぼうに10名、ふたば学級に10名、家庭教育学級に6名の父親参加があった。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①12名 ②6名 ③14名 の参加があった。 【評価の理由】家族の誰でも参加できる講座を計画したり、参加していいことを呼びかけたりした。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】 ①7名 ②18名 ③8名 の参加があった。 【評価の理由】家族の誰でも参加できる講座を計画したり、参加していいことを呼びかけたりした。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	引き続き、家族の誰でも事業に参加しやすいよう呼びかけていく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	29	男性の介護に関する意識の醸成
事業の内容		男性が介護に参画している事例の情報発信などを通じて、男性の介護に参画する意識を醸成していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	情報発信の実績なし。	D	男性の介護参画に関する情報発信は、家事・育児と比較するとまだまだ手をつけられていないが、高齢化が進むことで今後はより一層ニーズが高まっていくと考えられる。 また、令和6年度に実施した「事業所調査」でも育児サポートに関する取組は事例として収集できたが、介護サポートに関する事例の収集には至らなかった。
令和4年度 (2022)	①男女共同参画コラムにて、育休取得者の声を取り上げ、法改正及びイクメンプロジェクトについて周知した(1回)。【再掲】 ②コラム掲載に合わせて、育休取得した男性職員に聞き取りを行った。【再掲】		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】リーフレットの企業等への配布数0。 ①計画どおり実施した。 ②リーフレット配布は実施したが、企業宛には配布していない。 【評価の理由】家事シェアリングに関するリーフレットは、当初の予定よりも部数を減らしたことで、企業へ配布するリーフレットがなくなり、目標達成には至らなかったが、作成したリーフレットは、セミナー参加者及び公共施設へ配架することで、広く周知に努めた。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】男性の家庭生活などへの参画に関する情報発信回数0回 【評価の理由】未実施		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	長期化する介護と仕事・自身の生活との両立に関する情報は個人にとっても必要だが、働き盛り世代を抱える事業所にとっても必要なものであり、福祉分野や産業分野と連携して情報発信する必要がある。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	1	仕事と生活の調和の実現のための支援
施策の方向	(2)	家事・育児・介護への共同参画の推進
事業・施策No.	29	男性の介護に関する意識の醸成
事業の内容		男性が介護に参画している事例の情報発信などを通じて、男性の介護に参画する意識を醸成していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	家族介護者教室開催 介護の困りごとや悩みの共有について 【実施日】12月8日 【参加者数】3人 【場所】地域包括支援センター湖西白萩	A	参加者増加のために需要にあった内容を企画する。
令和4年度 (2022)	家族介護者教室講演会実施回数(3回/年) 参加者数(18人)		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】2回/年 【評価の理由】家族介護に関する知識普及を行った。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】家族介護者教室開催4回/年 【評価の理由】計画以上に教室を開催できたが、男性参加者はいなかった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	実施方法、実施場所、実施内容の見直し。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	30	育児・介護休業制度の広報・啓発
事業の内容		厚生労働省の両立支援助成金の事業所への周知などを通じて、育児・介護休業制度の広報・啓発活動を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	育児・介護休業法改正について、メルマガ・市ウェブサイトで広報。【再掲】	s	・市として直接的に支援できるリソースがなく、紹介に留まる。
令和4年度 (2022)	くるみんの認定制度について、メルマガで周知した。		
令和5年度 (2023)	【実績】メルマガ(3月配信)にて厚生労働省の育児・介護休業制度に関するWEBサイトを紹介した。 【評価の理由】事業者にもメルマガで周知を行った。 <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>		
令和6年度 (2024)	【実績】市公式LINE(事業者向け)を活用した周知をおこなった。 【評価の理由】計画通り実施した。 <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	個別キャリア相談実施		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	31	事業所内保育施設設置の促進
事業の内容		国で実施している事業所内保育施設運営事業費補助制度の紹介をします。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	湖西市事業所内保育施設運営事業費補助金を1事業所に交付。	s	・市として直接的に支援できるリソースがなく、紹介に留まる。
令和4年度 (2022)	案内・周知の実績なし		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】実績なし 【評価の理由】実績がないためDとする。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】市公式LINE(事業者向け)を活用した周知をおこなった。 【評価の理由】計画通り実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		4
今後の方向性 (内容)	市公式LINE(事業者向け)を活用して、事業所内保育施設運営事業費補助制度に関する情報を発信する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	総務課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	32	市役所内における男女共同参画の職場づくり
事業の内容		女性職員の積極的登用や職域の拡大、キャリア形成支援の実施などにより、市役所内における男女共同参画の職場づくりを推進します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	一般事務職等の職員採用者21人のうち、女性13人を採用した。 また、女性職員の登用について、係長級以上の職員が4人増え、38人登用し、係長級以上で女性職員が占める割合が2.6ポイント増え、28.6%を占めている。 女性が自身のキャリアを肯定的にとらえ、自らの価値観を知ること等を目的として、庁内における女性活躍推進研修を行った(参加者数34名)。	A	現在、男女の差なく管理職に登用し、採用も半数が女性となっているが、管理職年代においては女性の職員数の割合が低いと、女性管理職の比率が低くなっている。年代別の職員の男女比率を勘案すると女性管理職の比率を短期間で上げることは困難である。
令和4年度 (2022)	毎月1回、市役所の情報について提供するとともに、必要に応じ復帰後にはどのような勤務形態があるかを周知した。 ②男性職員を対象に、女性活躍・多様な働き方推進研修を実施した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】復帰後の勤務形態等について個別に1回以上対応した。 【評価の理由】半年以上職場を離れていた育児休業者に個別に復帰後の勤務形態等の相談に応じた結果、復帰者15人のうち、6人が部分休業、3人が短時間勤務、1人がその他休暇制度を活用することになり、復帰の支援につながった。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】復帰支援方法の周知 復帰後の勤務形態等について個別に1回以上対応 【評価の理由】半年以上職場を離れていた育児休業者に個別に復帰後の勤務形態等の相談に応じた結果、復帰者12人(男性2人含む)のうち、6人が部分休業、2人が短時間勤務を活用することになり、復帰の支援につながった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	多様な働き方を提示することで離職を防いで働きやすい環境づくりを行うとともに、キャリアを積んだ職員については男女の差なく管理職に登用し、市役所を活性化させる。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	32	市役所内における男女共同参画の職場づくり
事業の内容		女性職員の積極的登用や職域の拡大、キャリア形成支援の実施などにより、市役所内における男女共同参画の職場づくりを推進します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)		B	市民課は、市役所職員として必要な男女共同参画や性の多様性に関する知識の啓発のため職員研修は継続して実施している。また総務課が「女性活躍推進研修(R3)」「女性活躍・多様な働き方推進研修(R4)」を行ったことはあるが、例年の開催とはなっていない。 なお令和6年度静岡県市町女性の参画マップによると、湖西市の女性管理職割合(課長相当職以上)は「9.1%」であり、県内35市町中28位という結果であった。
令和4年度 (2022)	庁内の男女共同参画の推進を図るため、各課より1名選出し、男女共同参画に関する取組(イベントでの啓発品配布や、働き方の見直しや性の多様性に関する情報収集など)に取り組んだ。		
令和5年度 (2023)	【実績】庁内研修参加者数合計196名。 ①②計画どおり実施した。 【評価の理由】性の多様性職員研修参加者157名。アンケートにおける理解度「よく理解できた」「理解できた」の合計は97%であった。男女共同参画研修参加者39名。アンケートにおける理解度「よく理解できた」「理解できた」の合計は94%であった。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】職員向け研修参加者の理解度(アンケート回答:「よく理解できた」「理解できた」の合計)99% 【評価の理由】ジェンダー表現に関する職員研修参加者94名(アンケート回答78名)。アンケートでは「自分でも無意識のうちに、男性や女性の固定的な役割分担を思わせるような言動がこれまでにあったかもしれないと省みることができた」といった意見があった。 ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	女性活躍推進法における特定事業主としての取組の推進について、総務課との連携により推進できる部分(県内市町と比較して女性管理職が少ない要因の分析など)を検討する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	33	女性の多様な働き方に関する支援
事業の内容		起業や資格取得に関する情報提供やセミナーなどを実施することで、女性の多様な働き方を支援していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性のための起業講座(1回)を開催。 女性の再就職を支援するため、セミナー(8回)・企業面接会(1回)を開催。	s	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに、社会情勢、ニーズに合わせた多様な働き方について普及啓発、セミナーを行っていく必要がある。</li> <li>・副業、兼業が推進され、就労者向けに在宅ワークセミナーを実施し、多様な働き方の支援を行う一方で、在宅ワーク等への対応が困難な中小企業では、労働力確保がより困難になるのでは、と考える。</li> </ul>
令和4年度 (2022)	①女性の再就職支援セミナー8回開催 ②起業講座1回開催 ③企業説明会1回開催【再掲】		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①延べ53名②延べ33名③延べ8名 【評価の理由】①セミナー満足度96% ②セミナー満足度80% ③企業説明会満足度 求職者:87.5%、企業:83.3% 参加者数は、概ね目標値を達成した。 また、参加者アンケートより、満足度の高いセミナー及びイベントを実施することができた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	①再就職支援を目的としたセミナーの実施 セミナー満足度88.5% ②在宅ワークに関するスキル習得を目的としたセミナーの実施各セミナー参加者アンケートの満足度 セミナー満足度70%		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	①在宅ワークに関する概要を理解するためのセミナーの実施 ②在宅ワークに関するスキル習得及び向上を目的としたセミナーの実施		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(1)	多様な働き方を可能にする環境の整備
事業・施策No.	33	女性の多様な働き方に関する支援
事業の内容		起業や資格取得に関する情報提供やセミナーなどを実施することで、女性の多様な働き方を支援していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性相談において、就業に関する情報を望む方にはマザーズハローワークの紹介を行うなど、情報提供を行った。	B	<p>企業や資格取得に関するセミナーの実施実績はないが、静岡県事業の広報やマザーズハローワークの紹介など情報提供を行った。</p> <p>現在は情報提供先を主に女性相談利用者としているが、利用者の中に起業等を望むニーズはあまりなく、就労を希望するケースが多いことから、新たな周知先は検討が必要である。</p>
令和4年度 (2022)	ハローワークの紹介実績1件。【再掲】		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数7回。 ①②計画どおり実施した。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】相談先の情報提供は法律相談・警察の生活安全課・ハローワークなど。相談者の状況や希望に応じて対応できるよう、相談先の一覧を作成するなどして情報提供を継続する。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】相談者本人への他の相談先の情報提供回数 18回/年</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】産業振興課の「女性の再就職支援事業」をあざれあナビへ掲載依頼するなど、連携による周知をした。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充          2 継続          3 見直し          4 休止          5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	多様な働き方に関心の高い若年層にターゲットを絞った周知など、情報提供の方法を工夫する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	男女の均等な待遇確保の促進と啓発
事業・施策No.	34	「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進
事業の内容		県との連携や、男女共同参画社会づくり宣言事業所に対する建設工事に係る入札制度における優遇措置などを周知することで、「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	ダイバーシティ・マネジメント推進事業を利用した企業に制度を周知。	A	「男女共同参画社会づくり宣言事業所」をはじめ、男女共同参画に対する企業意識は、セミナーや専門家派遣、情報発信を通して高まってきている。 しかし、誰もが働きやすい職場環境を整えるためには、多額の費用と労力を要するため、企業の経営における優先順位が低いといった課題もある。 特に中小企業においては、必要性や重要性は理解していても、環境整備まで手が出せないといった状況がある。
令和4年度 (2022)	①市内企業を対象に、ダイバーシティ・マネジメントの理解と実践を目的とした「ダイバーシティマネジメントセミナー」を2回開催。(7名参加) ②市内企業を対象に「多様な働き方を実現する無料アドバイザー派遣」を実施。(2社派遣)		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】企業向けセミナーを実施。9社10名が参加 【評価の理由】企業向けセミナーを開催したところ、参加者は目標値に届かなかったが、参加者からは高い満足度を得ることができた。 セミナー満足度87.5%		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】市公式LINE(事業者向け)による周知 1回 【評価の理由】計画どおり実施した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		5
今後の方向性 (内容)	市内企業に対して、働きやすい環境を整え魅力ある企業になるための取組み支援を検討。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	契約検査室
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	男女の均等な待遇確保の促進と啓発
事業・施策No.	34	「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進
事業の内容		県との連携や、男女共同参画社会づくり宣言事業所に対する建設工事に係る入札制度における優遇措置などを周知することで、「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	建設工事競争入札参加者の格付基準に基づき、男女共同参画社会づくり宣言事業所の登録事業者に対する加点優遇措置を実施している。(平成27年6月から)	B	市内の建設業に従事する技術者はほとんどが男性であり、2年ごとに入札参加者の格付の見直しを行っても登録事業者が増えていない。
令和4年度 (2022)	建設工事競争入札参加者の格付基準に基づき、登録事業者に対し加点優遇措置を実施した。また、ウェブサイトにより、継続して周知を行っている。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】ウェブサイトによる周知 【評価の理由】建設工事競争入札参加者の格付基準に基づき、登録事業者に対し加点優遇措置を実施した。また、ウェブサイトにより、継続して周知を行っている。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】ウェブサイトによる周知 【評価の理由】建設工事競争入札参加者の格付基準に基づき、登録事業者に対し加点優遇措置を実施した。また、ウェブサイトにより、継続して周知を行っている。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	建設工事競争入札参加者の格付基準において、登録事業者に対する加点優遇措置については今後も継続していく。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	男女の均等な待遇確保の促進と啓発
事業・施策No.	34	「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進
事業の内容		県との連携や、男女共同参画社会づくり宣言事業所に対する建設工事に係る入札制度における優遇措置などを周知することで、「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	新規の実績なし。	C	<p>「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の普及促進について、令和6年度に実施した「事業所調査」の際に宣言の方法やメリットをまとめた静岡県のチラシを同封するなどの広報を実施したが、宣言事業所の増加には至っていない。理由としては認知度の低さもあるが、宣言する事業所にとってのメリットがあまり大きくないことが考えられる。</p>
令和4年度 (2022)	新規ページの作成未実施。		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】男女共同参画社会づくり宣言事業所数42事業所。 ①未実施。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】宣言事業所の更新情報について確認した。宣言事業所になるメリットをまとめて市内事業所へ周知するなどの取組を継続する。</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】男女共同参画社会づくり宣言事業所数42事業所</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より 【評価の理由】事業所調査の調査票を郵送する際に宣言事業所制度に関するチラシを同封した(送付先500社)。また、事業所調査の優良事例に関するヒアリングを5社に対して実施し、えるぼしやくるみんの取得状況や男女共同参画宣言事業所について周知した。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)</p>		3
今後の方向性 (内容)	<p>今後は、事業所にとってもメリットが大きな「えるぼし」や「くるみん」の情報提供や取得を促進するセミナーなどの周知にシフトすることを検討する。</p>		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	男女の均等な待遇確保の促進と啓発
事業・施策No.	35	農林水産業など自営業に従事する女性の労働条件・労働環境の整備
事業の内容		家族経営協定推進会議の開催などにより、新規協定締結を促進することで、労働条件・労働環境の整備を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	3家族が家族経営協定を締結した。(新規:2家族、見直し:1家族)	A	家族経営であっても、ライフ・ワークの境をはっきりさせ、就業条件や家庭内のルールについて見直す機会を設けるため、今後も新規締結や内容の見直しを促進する。
令和4年度 (2022)	1家族が家族経営協定を締結した。(見直し:1家族)		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】家族経営協定の締結 1件 【評価の理由】湖西市農業振興協議会総会と併せて締結式を開催しており、協議会員への啓発が図られている。 締結式参加者 34名		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】家族経営協定の締結 1件 【評価の理由】湖西市農業振興協議会総会と併せて締結式を開催しており、協議会員への啓発が図られている。 締結式参加者 34名		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	引き続き、家族経営協定の新規締結や内容見直しの促進を実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	産業振興課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(2)	男女の均等な待遇確保の促進と啓発
事業・施策No.	36	男女の均等な雇用機会と待遇確保の広報・啓発
事業の内容		一人一人が活躍できる職場づくりの支援や、市広報誌・中小企業対象のメールマガジンによる広報・啓発活動を実施します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	男女雇用機会均等月間(6月)の報道発表なし。 ダイバーシティ・マネジメント推進事業において多様な人材が活躍できる職場づくり等に関するセミナー及び専門家派遣を実施。 「えるぼし・くるみん」について、市ウェブサイトに掲載。	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報、啓発活動を計画通り実施、えるぼし認定を新たに取得した企業があったものの、市内企業全体への認定取得促進には至っていない。</li> <li>・ 男女の均等な雇用機会と待遇確保の促進が、人材の定着や人材の確保、従業員のモチベーション向上など、企業価値の向上に繋がる点を踏まえた周知活動が必要では、と考える。</li> </ul>
令和4年度 (2022)	ページ作成(市内認定企業3社)		
令和5年度 (2023)	<p>【実績】認定企業の増加はないが、メルマガでくるみん・えるぼし制度についての情報発信を行った。</p> <p>※R5は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】認定企業が増加していないため</p>		
令和6年度 (2024)	<p>【実績】市公式LINE(事業者向け)を活用した周知を行った。</p> <p>※R6は実績と評価の理由欄より</p> <p>【評価の理由】計画通り実施した。</p>		
今後の方向性 (数字を入力)	<p>1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)</p>		2
今後の方向性 (内容)	ウェブサイトによる周知		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども政策課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	5	家庭生活と社会生活の両立
基本施策	2	働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	(3)	ひとり親家庭などへの自立支援
事業・施策No.	37	ひとり親家庭への生活支援の充実
事業の内容		生活の自立を図るために、各種手当の支給や助成を、ひとり親家庭を対象に行います。また、就職に有利な技能資格の取得に関する情報や、ひとり親家庭への支援を行う団体の情報などを提供することで、ひとり親家庭への生活支援を充実していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	【児童扶養手当】 244人 124,839,270円 【ひとり親家庭等医療費助成制度】 128世帯 5,293,650円 【村田光雄奨学金】 35世帯 42人 1,930,000円 【湖西市交通遺児等福祉手当】 1世帯 120,000円	S	相談や制度利用者等で市と繋がっている人には情報を届けることができるが、広く周知をしてもすべての人に情報を届けることは難しい。 また、一般的に、自身が支援を必要とするタイミングでないこのような制度があることに興味を持つことが少ないことから、広報回数を増やし市民の目に触れやすい環境とすることで、必要な時に思い出してもらえるよう取り組みたい。
令和4年度 (2022)	児童扶養手当受給者数 R3:244人→R4:241人 ひとり親家庭等医療費助成受給世帯 R3:128世帯→R4:136世帯 村田光雄奨学金受給者数 R3:42人→R4:35人 湖西市交通遺児等福祉手当受給者 R3:1人→R4:1人		
令和5年度 (2023)	【実績】13回 【評価の理由】基本施策2(2)ひとり親家庭などへの自立支援に関する事業を、多様な広報ツールを活用して幅広く情報発信した。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】各種広報ツールによる情報発信の合計回数 15回 (広報こさい・市役所だより・市公式LINE・市公式Facebook、市公式Twitterでの発信) 【評価の理由】対象者が情報を入手できるよう、広報こさい・LINEという複数の媒体を活用して周知を行った。 広報こさい 8回 市公式LINE 7回 ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	各種支援を継続し、必要とされる情報をより効果的な広報媒体で周知する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	38	性の理解と尊重に向けた意識啓発
事業の内容		広報誌などを通じた情報提供や啓発により、性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に対する理解に向けた意識啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	母子手帳交付時および赤ちゃん訪問にて啓発活動を実施。	A	母子健康手帳の交付時には、妊婦本人の健康状態や生活環境、出産に関する不安等を確認し必要な支援へつなげ、赤ちゃん訪問では赤ちゃんの健康だけでなく、母親の身体的・精神的な回復状況の確認を行い、次の妊娠に関する考えを確認しながら家族計画の話を実施した。また、パートナーが育児に主体的に関わることの重要性の話をした。
令和4年度 (2022)	①351人の妊娠届出者に母子手帳を発行し妊娠・出産にむけての話をを行った。 ②妊婦健診延べ3,896人が受診。 ③302人に赤ちゃん訪問を実施し必要な人に対して家族計画の話を実施した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】100% 【評価の理由】対象となる乳児の家庭に保健師、助産師による訪問をすべて実施し産婦への指導をすることができた		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】100% 【評価の理由】対象となる乳児の家庭に保健師、助産師による訪問をすべて実施し産婦への指導をすることができた		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		5
今後の方向性 (内容)	妊娠・出産・育児を通じて、女性だけでなくパートナーも含めた家族全体が、自分たちの意思で安心・安全に子どもを迎えられるよう支援を継続するために母子健康手帳の交付や赤ちゃん訪問に加え、妊娠期パパママ講座でも育児技術の習得に加え、互いの価値観を尊重する重要性についても講話の中で伝え、両親間の育児に対する考え方の違いによるストレスや孤立を防ぐため、対話や協力を促進する内容を盛り込む。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	地域福祉課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	38	性の理解と尊重に向けた意識啓発
事業の内容		広報誌などを通じた情報提供や啓発により、性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に対する理解に向けた意識啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	生活が困窮している女性を支援するため生理用品無償提供事業を実施し、受取用カードにリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて記載。生理用品62セット配付。	A	「性と生殖に関する健康・権利」と「生理用品無償提供事業」を併せて周知し、身近なテーマに落とし込むことができた。 受取り易さを重視し、生理用品受渡時に困り事の有無の問いかけや個人情報の確認を行わなかったため、「生理用品を購入できない」状態の背景にある問題への支援に繋ぐことはできなかった。
令和4年度 (2022)	生理用品14セット配付。 広報こさいにて、本事業と「生理の貧困」、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を併せて周知する記事を掲載した。(計2回)		
令和5年度 (2023)	【実績】生理用品18セット配付。広報こさい8/15に掲載 【評価の理由】市民課と連携し、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」や相談窓口の周知と合わせて実施した。 ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】生理用品3セット配付。 【評価の理由】新型コロナウイルス感染症5類移行(令和5年5月)に伴い、在庫限りで事業終了を決定。令和6年度は広報等未実施。 ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		5
今後の方向性 (内容)	事業終了。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	38	性の理解と尊重に向けた意識啓発
事業の内容		広報誌などを通じた情報提供や啓発により、性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に対する理解に向けた意識啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	地域福祉課の生理用品無償提供事業と併せ、ウェブアンケート(有効回答数10人)を行い、生理に関するニーズや市民の声を集めた。また、広報こさい(5月15日発行号)にて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する男女共同参画コラムを掲載した。	A	地域福祉課が所管課としてはじめて「生理用品の無償提供事業」をきっかけに、整理に関するウェブアンケートや周知啓発の取組みが進んだ。 令和6年度の男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査で「リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉・考え方の認知度」を聞いた設問では「よく知っている」「少し知っている」「言葉だけ知っている」の合計が14.2%であり、前回調査(R2)の9.6%から4.6ポイント増加した。
令和4年度 (2022)	広報こさいにて、「生理の貧困」についてコラムで取り上げ、生理用品無償提供事業について周知した(1回)。「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」について広報こさいで取り上げ、厚生労働省委託事業の「ヘルスケアラボ」の紹介をした(1回)。		
令和5年度 (2023)	【実績】リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する周知・啓発3回。 ①未実施。ほかの機会に3回啓発を実施した。 【評価の理由】はたちのつどい(旧成人式)でのリーフレット・啓発品配布など、主に若年層に対してリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識啓発をした。広報こさいのコラムでは、子宮頸がんのワクチン及び検診の重要性について啓発した。		
令和6年度 (2024)	【実績】リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報発信回数1回/年 【評価の理由】静岡県主催事業「働く女性の健康課題を考えるセミナー2025」についてウェブサイト・SNSにより周知した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	世界的に標準となってきた「SRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」は生理だけではなくライフステージを通じた概念であることから、それぞれの年代に合わせた周知や啓発を継続して行う必要がある。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	健康増進課
-----	-------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	39	健康に対する意識啓発
事業の内容		各種健康教室の実施や相談体制の整備により、健康に対する意識啓発を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	心をテーマにした市民健康講座やスポーツ生涯学習課と共同で運動と健康を結びつけた教室を各地区で実施し、啓発に努めた。健康相談においては、現行の対面、電話での相談に加えオンラインを利用した方法の導入について検討し、1回試行した。	A	①65歳以上の教室参加が多い。若い年齢層の参加が増えるような取り組みが必要。 ②参加者は女性が多い。
令和4年度 (2022)	糖尿病教室を1クール(2回)実施。(参加実人数は12人、延べ人数23人) 骨粗しょう症予防教室を1クール(2回)実施。(参加実人数17人、延べ人数24人) その他、健康づくりに関する団体と連携して各地区で健康教育を実施。(市民健康教室75人、健康ウォーキングでの講話116人)		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】①健康教室参加延べ人数 1,539人 ②健康相談数 181人 【評価の理由】関係課や関係団体と連携しながら、健康づくりに関する教室を実施し、広く健康に対する意識啓発を行うことができた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】①健康教室参加延べ人数1,883人 ②健康相談数208人 【評価の理由】①65歳以上の教室参加が多い。若い年齢層の参加が増えるような取組みが必要。 ②参加者は女性が多い。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		3
今後の方向性 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の健康教室や健康相談を継続しつつ、若い世代にアプローチできる場所での健康教育、健康相談を企画する。</li> <li>・男性が参加しやすい場を検討する。</li> </ul>		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	総務課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	40	心身と性に対する相談体制の整備
事業の内容		心身の悩みに対して相談しやすい環境や性に対する相談体制を整備します。また、研修を通して職員の意識や理解を深めます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	総務課及び女性職員によるハラスメント相談窓口、ハラスメント苦情処理委員会を設置している。	A	第三者による相談窓口を設置しているものの人事担当職員による相談受付も多い。メンタルヘルスの重要度は上がっているため、ラインケアも含めた組織としての相談受付体制の構築が必要である。
令和4年度 (2022)	ハラスメントに関する市職員による相談窓口に加え、第三者による相談窓口の設置を検討した。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】32名 【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 6月から2月まで毎月1回相談窓口を開設。相談内容は職務・職場に限らず、業務以外の相談も適宜受け付けた。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】相談窓口への相談件数 38名 【評価の理由】5月から2月まで毎月1回相談窓口を開設。相談内容は職務・職場に限らず、業務以外の相談も適宜受け付けた。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	引き続き相談しやすい環境と相談体制の確保を図る。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(1)	生涯にわたる心身の健康の保持、増進のための支援
事業・施策No.	40	心身と性に対する相談体制の整備
事業の内容		心身の悩みに対して相談しやすい環境や性に対する相談体制を整備します。また、研修を通して職員の意識や理解を深めます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性相談事業を実施。年間相談件数は30件。【再掲】広報こさい偶数月号に女性相談員によるコラムの掲載を行った。 また、令和3年8月より開始した静岡県事業「ふじのくにLGBT電話相談」に関するチラシ配布・ウェブサイトによる周知を行った。	A	女性相談は年間を通して継続して実施しており、利用件数は約30回/年で安定して推移している。相談内容としては「夫婦関係・家族の関係」が7割程度を占めるが、相談内容に表れるキーワードとしては「心の問題」が3件(R3)⇒10件(R4)⇒8件(R5)⇒4件(R6)、「からだ(妊娠出産・性・摂食障害を含む)」が2件(R3)⇒1件(R4)⇒0件(R5)⇒3件(R6)と推移しており、心身の健康の維持に関する情報発信や啓発も引き続き必要であるといえる。
令和4年度 (2022)	①女性相談事業は年間を通して44回行い、相談実績は39件だった。【再掲】 ②性暴力防止月間に関して、SNS・ウェブサイトによる広報を3回行った。【再掲】		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】女性相談利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合22%。 ①②計画どおり実施した。 【評価の理由】女性相談事業を通年実施し、相談件数は36件であった(前年度比92%) 利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合が、前年度の2%から20ポイント上昇した。公共施設でのチラシ・カード等の掲示のほか、掲示に協力いただける事業者などを引き続き探して広報を続ける。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】利用者のうち、チラシ・カードを見て相談利用した人の割合3.3% 【評価の理由】①相談件数30件のうち、心身と性に関する悩みがキーワードとなった相談件数は7件だった(前年度12件)。 ②静岡県主催事業「働く女性の健康課題を考えるセミナー2025」についてウェブサイト・SNSにより周知した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	性別やライフステージに応じた心身の健康の維持に関する情報発信や啓発を引き続き行う。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(2)	母子保健の充実
事業・施策No.	41	妊娠・出産に対する正しい知識の普及・啓発
事業の内容		妊婦講座などへの父親の参加促進や、妊娠・出産に対する正しい知識を発信していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	定例・随時健康相談を実施することで健康意識の啓発を行った。	A	父親への妊娠・出産に対する正しい知識の発信方法を考える必要がある
令和4年度 (2022)	351人の妊娠届出者とプレパパプレママ教室参加者122人に対して、妊娠・出産に関する講話を行った。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】100% 【評価の理由】母子手帳の交付時にすべての妊婦に妊娠出産に関する説明を行うことができた		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】100% 【評価の理由】母子手帳の交付時にすべての妊婦に妊娠出産に関する説明を行うことができた		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	母子健康手帳の交付時だけでなく出産前の講座を通じて妊娠・出産に対する知識の普及を行っていく		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(2)	母子保健の充実
事業・施策No.	41	妊娠・出産に対する正しい知識の普及・啓発
事業の内容		妊婦講座などへの父親の参加促進や、妊娠・出産に対する正しい知識を発信していきます。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	広報こさい(5月15日発行号)にて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する男女共同参画コラムを掲載した。【再掲】	B	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する広報・啓発は継続して実施しているが、プレパパ・プレママ講座への父親の参加促進などの情報発信はできていない。事業を所管することも未来課、市内の子育て支援センターや産業分野との連携による情報発信等ができること、より周知の効果が高まると考えられる。
令和4年度 (2022)	広報こさいにて、「生理の貧困」についてコラムで取り上げ、生理用品無償提供事業について周知した(1回)。【再掲】 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」について広報こさいの小さな特集で取り上げ、厚生労働省委託事業の「ヘルスケアラボ」の紹介をした(1回)。【再掲】		
令和5年度 (2023)	【実績】リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する周知・啓発3回。 ①未実施。ほかの機会に3回啓発を実施した。 【評価の理由】はたちのつどい(旧成人式)でのリーフレット・啓発品配布など、主に若年層に対してリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識啓発をした。広報こさいのコラムでは、子宮頸がんのワクチン及び検診の重要性について啓発した。		
令和6年度 (2024)	【実績】リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報発信回数1回/年 【評価の理由】静岡県主催事業「働く女性の健康課題を考えるセミナー2025」についてウェブサイト・SNSにより周知した。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	プレパパ・プレママ講座に関する情報発信は関係部署との連携により実施する。また妊娠・出産に関する正しい知識の発信については、こども計画において「プレコンセプションケアを含む成育医療※等に関する相談支援等の充実」の取組が掲載されていることから、こどもや若年男女に向けた周知啓発の取組を連携して実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	こども未来課
-----	--------

## 1 目標・施策の内容

基本目標	6	男女の生涯にわたる心身の健康への配慮
基本施策	1	生涯にわたる男女の心身の健康支援
施策の方向	(2)	母子保健の充実
事業・施策No.	42	不妊治療に対する支援
事業の内容		不妊治療に対する経済的支援を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	特定不妊治療費助成 延45組 一般不妊治療費助成 延5組	A	不妊治療は保険が適用されるようになり経済的負担が随分少なくなってきた。今後は、現状に合わせた新たな制度設計が必要
令和4年度 (2022)	特定不妊治療費助成34組(延36組) 一般不妊治療費助成2組 不育症治療助成1組		
令和5年度 (2023)	【実績】1回/年 【評価の理由】市のウェブサイトで不育症治療助成についての周知を行うことができた ※R5は実績と評価の理由欄より		
令和6年度 (2024)	【実績】1回/年 【評価の理由】市のウェブサイトで不育症治療助成についての周知を行うことができた ※R6は実績と評価の理由欄より		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	令和6年度に不妊治療助成を改正したばかりなので今後も現状を維持する		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	7	国際的視点に立った男女共同参画
基本施策	1	国際社会の動きに沿った男女共同参画の推進
施策の方向	(1)	多文化共生の視点に立った男女共同参画事業の推進
事業・施策No.	43	各種相談体制の整備
事業の内容		在住外国人も男女共同参画に関する相談ができるよう、多言語に対応した相談窓口を整備します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	女性相談では、相談時に通訳派遣できるよう外国人総合窓口と連携している。在住外国人の相談実績は2件。 また、令和3年8月よりタブレット端末を導入し、より広い多言語対応が可能となるよう、体制を整えた。	B	外国人総合窓口(ポルトガル語・スペイン語通訳)の常設や多言語タブレットの設置により、在住外国人も相談ができる体制を整備し、女性相談の実施については毎月外国人向け行政情報誌「Informativo」にて周知している。 女性相談での相談件数が少ないことについては、外国人総合窓口で通訳者へ相談している内容の中に、家族や生活の悩みが含まれており、個別相談の利用にまで繋がらないことが考えられる。
令和4年度 (2022)	①女性相談では、相談時に通訳派遣できるよう外国人総合窓口と連携している。R4年度の在住外国人の相談実績は0件。 ②通訳又はタブレット端末によるビデオ通訳を可能としており、男女共同参画分野の相談に対しては職員が対応可能。		
令和5年度 (2023) ※R5は実績と評価の理由欄より	【実績】在住外国人の相談実績0件。 ①②計画どおり実施した。 【評価の理由】経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 令和4年度相談件数は0件。 ニーズに応じて、多言語対応(ポルトガル語・スペイン語通訳の同席またはタブレット対応)が可能な環境を整備している。 女性相談のチラシや予約フォームも多言語版を作成・公開している。		
令和6年度 (2024) ※R6は実績と評価の理由欄より	【実績】よりそい相談の在住外国人相談実績(※経過観察の人数)0件/年 【評価の理由】①経過観察(モニタリング)指標と目標値のため、評価はなし。 多言語対応(ポルトガル語・スペイン語通訳の同席またはタブレット対応)が可能な環境を整備し、女性相談のチラシや予約フォームも多言語版を公開している。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	在住外国人からの相談も受けられる体制や多言語での情報発信、また相談員のやさしい日本語での対応などを引き続き実施する。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	7	国際的視点に立った男女共同参画
基本施策	1	国際社会の動きに沿った男女共同参画の推進
施策の方向	(1)	多文化共生の視点に立った男女共同参画事業の推進
事業・施策No.	44	在住外国人向けの情報発信
事業の内容		市民向けに発信する情報を複数の言語に翻訳することにより、在住外国人への情報発信を行います。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	①外国人向け行政情報誌「Informativo」へ女性相談の案内を毎月掲載している。女性相談チラシをポルトガル語・スペイン語に翻訳し、通訳窓口に配架している。 ②「Informativo11月号」にて、DV特集記事と相談先リストを掲載した。 ③パープルリボン・プロジェクト時には、ポルトガル語・スペイン語の啓発物やリーフレットを外国人総合窓口や多文化共生イベントにて配布した。	A	外国人向け行政情報誌「Informativo」での情報発信は継続して実施しており、そのほかパープルリボン・プロジェクトやパートナーシップ宣誓制度などの男女共同参画に関する情報を多言語翻訳している。 在住外国人の増減に伴い必要な言語も変わることから、引き続き多文化共生担当と連携して翻訳版の広報を行う。
令和4年度 (2022)	①外国人向け行政情報誌「Informativo」へ女性相談の案内を毎月掲載している(年12回)。女性相談チラシをポルトガル語・スペイン語に翻訳し、通訳窓口に配架している。 ②「Informativo11月号」にて、DV特集記事と相談先リストを掲載した。 ③多言語版リーフレット配布数2000部(上記全16箇所+配布先:外国人市民の方が多く利用するスーパー、KOKOまつり等)。【再掲】		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】男女共同参画に関する多言語版の情報発信回数12回。 ①②③計画どおり実施した。  【評価の理由】多言語広報紙(「Informativo」)において、女性相談窓口の相談日を掲載した。パープルリボン・プロジェクトの相談窓口チラシには、ポルトガル語・スペイン語も掲載した。男女共同参画に関する情報を国籍や言語を問わず入手できるよう、可能な限り多言語対応した情報発信をしている。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】多言語版広報紙(「Informativo」)での女性相談の周知回数12回/年  【評価の理由】①多言語広報紙(「Informativo」)において、女性相談窓口の相談日を掲載した。 ②多言語広報紙(「Informativo」)にパープルリボンプロジェクトの特集スペースを設けた。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	多言語版の情報発信は引き続き実施し、翻訳しない場合もやさしい日本語やイラストを使用した情報発信や広報・啓発に努める。		

# 湖西市第4次男女共同参画推進計画 実施状況確認シート

担当課	市民課
-----	-----

## 1 目標・施策の内容

基本目標	7	国際的視点に立った男女共同参画
基本施策	1	国際社会の動きに沿った男女共同参画の推進
施策の方向	(2)	国際社会の動向の把握と情報発信
事業・施策No.	45	国際社会の情報の収集と発信
事業の内容		国連婦人の地位委員会に関する情報など、国際社会における男女共同参画に関する情報を収集し、情報発信します。

## 2 事業実績と今後の方向性

年度	事業実績の内容	4年間の評価 (D～S評価)	主な課題など ※男女共同参画の視点から
令和3年度 (2021)	モニター広告においてジェンダーギャップ指数について広報した。 広報こさい(7月15日発行号)の男女共同参画コラムにおいて、オリンピック・ムーブメント(スポーツを通して性別・文化・国籍を超えて世界平和を実現しようという考え方)について掲載した。	A	令和5年度からはKOKOまつり(多文化共生イベント)を活用した広報などを実施し、国際社会における男女共同参画に関する情報を発信した。 特にジェンダーギャップ指数は毎年公表される認知度の高い情報であることから、今後も継続して周知する。
令和4年度 (2022)	①広報こさい(3月15日発行号)男女共同参画コラムにおいて、OECD加盟国30カ国の女性中学校長の割合について記載した。 ②ジェンダーギャップ指数について広報した(モニター広告・図書館特設コーナー)。		
令和5年度 (2023) <small>※R5は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】ブラジル・ペルーに関する男女共同参画に関する情報発信回数1回。 ①②計画どおり実施した。  【評価の理由】KOKOまつり(多文化共生イベント)では、参加10か国の政治分野におけるジェンダーギャップ指数をランキング形式で掲示し、来場者がコメントを書き込めるボードを設置した。参加者からは「参加10か国の中で日本が最下位で驚いた」といったコメントをいただいた。特に、湖西市に多く住んでいるブラジルやペルーの方に関わる情報発信を継続する。		
令和6年度 (2024) <small>※R6は実績と評価の理由欄より</small>	【実績】男女共同参画に関する多言語版の情報発信回数2回/年  【評価の理由】①KOKOまつり(多文化共生イベント)では、パープルリボンに関する啓発リーフレット及び啓発品を配布した(配布数約50セット)。暴力防止に関するメッセージを多言語で集め、いただいた55件のメッセージを展示した。 ②市役所待合スペース等に設置されたモニター広告を活用し、ジェンダーギャップ指数に関する周知をおこなった。		
今後の方向性 (数字を入力)	1 拡充      2 継続      3 見直し      4 休止      5 完了(事業の目標を達成した)		2
今後の方向性 (内容)	在住外国人も日本人も関心を持てるような、男女共同参画と国際状況に関する情報発信を引き続き実施する。		